令和７年度
京丹後市の教育



「本物から学ぶ世界の歴史と文化
～大阪・関西万博エジプトパビリオン見学～」

京丹後市教育委員会

「令和７年度 京丹後市の教育」発刊のことば

令和７年度の教育行政は、平成２７年３月に策定、令和元年１１月に中間見直しした京丹後市教育振興計画の基本理念に基づき、京丹後市が目指す教育、「心豊かにたくましく　幸福な未来を切り拓く力を育む教育」「ふるさとへの愛着と誇りを持ち　新しい価値を創りだす力を育む教育」の実現に向け、精力的に取り組んでまいりました。

平成２８年度より全市展開となりました小中一貫教育は１０年目となり、さらに令和２年度から名称を、就学前から中学校卒業までの一貫性を目指す教育「保幼小中一貫教育」とし、保育所・幼保連携型認定こども園・小中学校が特色を活かしながら連携の取組みを実践し、地域とともにある学校を目指し、教育活動の推進に努めました。

その中でも、今年度は令和５年４月に施行されたこども基本法も踏まえ、また、一人一人のウェルビーイングの向上を目指し見直しを行った「京丹後市教育振興計画」のスタートの年でもありました。これまで培ってきた本市の教育システムの良さを残しつつ、柔軟に社会の変化や多様性、子ども自身の声に応えられるよう、地域とともに誰一人取り残されない教育をすすめてまいります。

学校教育関係では、市内全小中学校の１人１台端末をクラウド環境に適したOS・機種へ更新し、協働学習や情報共有を円滑に行うための基盤を整備するとともに、クラウドを活用したAIドリルや端末の持ち帰りによる家庭学習の定着を推進しました。また、令和４年度に中学２年生の端末へ導入した「英語力向上アプリ」を、中学全学年対象に導入して３年目を迎えるなか、令和７年度からは、小学５・６年生にも広げ、本市の特色ある英語教育や授業づくりを進めました。さらに、国際的な視野を持ったグローバルリーダーを育成することを目的に、市内の中学３年生と高校生を対象としたKyotango Sea Laboについては、３年間の研究成果をもとに完成した京丹後市版のプログラムを実施し、丹後学・デザイン思考・STEAM教育を通して、創造性を育むとともに、地域の課題に向き合う取組を行いました。加えて、小学５年生、中学１・２年生が大阪・関西万博を見学し、世界の最先端技術や文化を体験しました。

学習環境の整備では、子どもたちが安心して学びやすい教育環境の整備を主眼とし、学校体育館の照明LED化を順次行い、今年度は弥栄小学校で実施しました。ほかにも、大型事業である網野学校給食センターが完成し、旧施設についても解体撤去しました。

社会教育分野では、地域公民館を中心として子どもから高齢者まで幅広い世代を対象とした学習機会や生きがいづくりの場の提供に努めました。また、文化芸術振興分野では、令和４年度に策定した「京丹後市文化芸術振興計画」に基づき、優れた文化芸術を鑑賞・体験できる機会の提供に努めたほか、コロナ禍により一時停滞した地域文化活動の普及・振興を推進し、文化芸術活動の充実に努めました。

社会体育関係では、令和５年度末に中間見直しを行った「第２次スポーツ推進計画」に基づき、各種施策を進めました。予定したニュースポーツ教室やノルディックウォーキング等全てのスポーツ事業を開催することができました。また２０２７年開催予定のワールドマスターズゲームズ関西に向けたカヌーマラソンやSUP大会、丹後１００㎞ウルトラマラソン、丹後大学駅伝など開催し、スポーツを通じた本市の魅力発信やスポーツのまちづくりを進めました。

文化財保存活用関係では、京丹後市文化財保存活用地域計画を推進する中、「市民遺産制度」の補助金制度を創設し、制度初年度から市民遺産の保存活用を支援することができました。また、令和９年３月に丹後震災１００年の節目を迎えるにあたって、丹後震災記念館耐震化・利活用検討委員会により現在閉鎖中の丹後震災記念館について検討を進め、耐震化及び利活用基本計画の取りまとめを行いました。

さらに、日本海側最大の前方後円墳である網野銚子山古墳の環境整備については、

平成２７年度からの長きにわたる工事が本年４月に完成し、記念式典及びオープニングイベントを盛大に実施することができました。今後は教育的資源、観光的資源、地域の資源として、更なる利活用の方策について具体的な検討を進め、有効な施策につなげることが不可欠と考えているところです。

本誌「京丹後市の教育」（教育要覧）の発行は今回で２１年目となります。教育委員会活動を紹介する資料として、引き続き内容の一層の充実に努めてまいりたいと思いますので、忌憚のないご意見をお寄せいただければ幸いです。

令和８年９月

京丹後市教育委員会教育長　　松　本　明　彦

市の花「トウテイラン」



トウテイランは、8 月から 9 月にかけて多数の青紫色の花を開く多年草であり、山陰海岸の砂丘に見られ、箱石砂丘の群落は「京都の自然 200 選」にも選定されています。

盛夏から秋にかけ、中国の洞庭湖（どうていこ）の湖水のように美しく神秘的な色の花を咲かせるトウテイランは、日本固有種で外国には自生しておらず、また、日本国内でも数か所にしか自生していない非常に貴重な花です。

市の木「ブナ」



ブナは、温帯林を代表する落葉広葉樹であり、雪にもめげず、春には他の落葉樹に先がけて芽吹きを始めます。

京丹後市には、山から里、そして海が 1 つの市の中で連続しているという特徴があり、森で育まれた栄養分が川から水田へ流れておいしいお米を育て、最後には海へ流れて、貝や魚等の生き物を育んでいます。

温暖化や森林破壊、人口爆発等、地球規模での課題に直面している今、気候を安定させ、多様な生き物を育み、「緑のダム」として水や食料を私達に与えてくれるブナ林は、まさに京丹後市の自然豊かな環境のシンボルと言えます。

市の歌について

未来を担う子どもたちが、ふるさとに対して興味や関心を持ちふるさとを誇りに思うことができる歌をめざし、市民の皆様に永く歌い継がれる歌、京丹後市に夢を持ち、活き活きと歌い継いでいける歌、そして希望を持ち、将来に向かい明るい展望が持てる歌となるように京丹後市の魅力をもりこんだ歌です。（作詞：梅田俊作　作曲：藤原哲也）

京丹後市歌

詞　梅田　俊作

一、海青く　緑の半島　風そよぐ
めぐりくる　季節のなかに　いだかれて
描く夢　色鮮やかに　いつまでも
ふるさと色は　君の原色

二、薄墨の　雲間に光る　海原は
はるかなる　絹の道と　波つづき
季節風（うらにし）に　ぬかるむ大地　踏みしめて
歩いていこう　夢が道しるべ

三、さんさんと　天（そら）に子午線　時が往く
世代越え　伝え守る　手から手に
ものづくり　ものがたりの　玉手箱
はるか未来へ　君に預け物

四、いにしえの　歴史をたどる　丹後路は
新しき　王国へと　つづく道
手をつなごう　みなの思いが　羅針盤
ただひたすらに　京、丹後の　明日へ

目　　次

教育行財政

1　教育委員会委員、教育委員会組織体制図・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2　教育委員会事務局事務分掌表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
3　教育委員会の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4　教育費予算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
5　京丹後市教育振興計画に係る令和７年度評価・・・・・・・・・・・・・・ 13
6　主要な決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17

学校教育

1　児童生徒数及び学級数の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
2　学校施設一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37
3　京丹後市立公立学校施設整備事業、学校施設改修事業・・・・・・・・・・ 39
4　学校通学区、スクールバス運行・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
5　奨学金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
6　学校適正配置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
7　保幼小中一貫教育　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 47
8　学校保健・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
9　学校給食・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 56
10　就学援助・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
11　教育指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
12　学校安全・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
13　不登校対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 68
14　研究等指定校・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
15　学校情報化推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
16　子ども主体の学びの推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73

社会教育

1　社会教育事業の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 81
2　社会教育施設概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・95
3　各地域公民館事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・97
4　図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・116
5　社会体育事業概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・124

6　社会体育施設一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・133

文化財

1　文化財保存活用事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・135
2　文化財保護関係施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・144
3　指定文化財・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・147

子育て支援（こども部）

1　保育所・認定こども園　運営内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 150
2　各こども園の教育内容、各保育所の保育の理念・保育の目標・・・・・・ 151
3　放課後児童クラブ登録児童数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 161
4　子育て支援センター月別登録者・利用者数・・・・・・・・・・・・・・ 162
5　家庭児童相談種別件数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 163
6　ヤングケアラー支援事業実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 164

各種委員名簿

1　各種委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・165

教育行財政

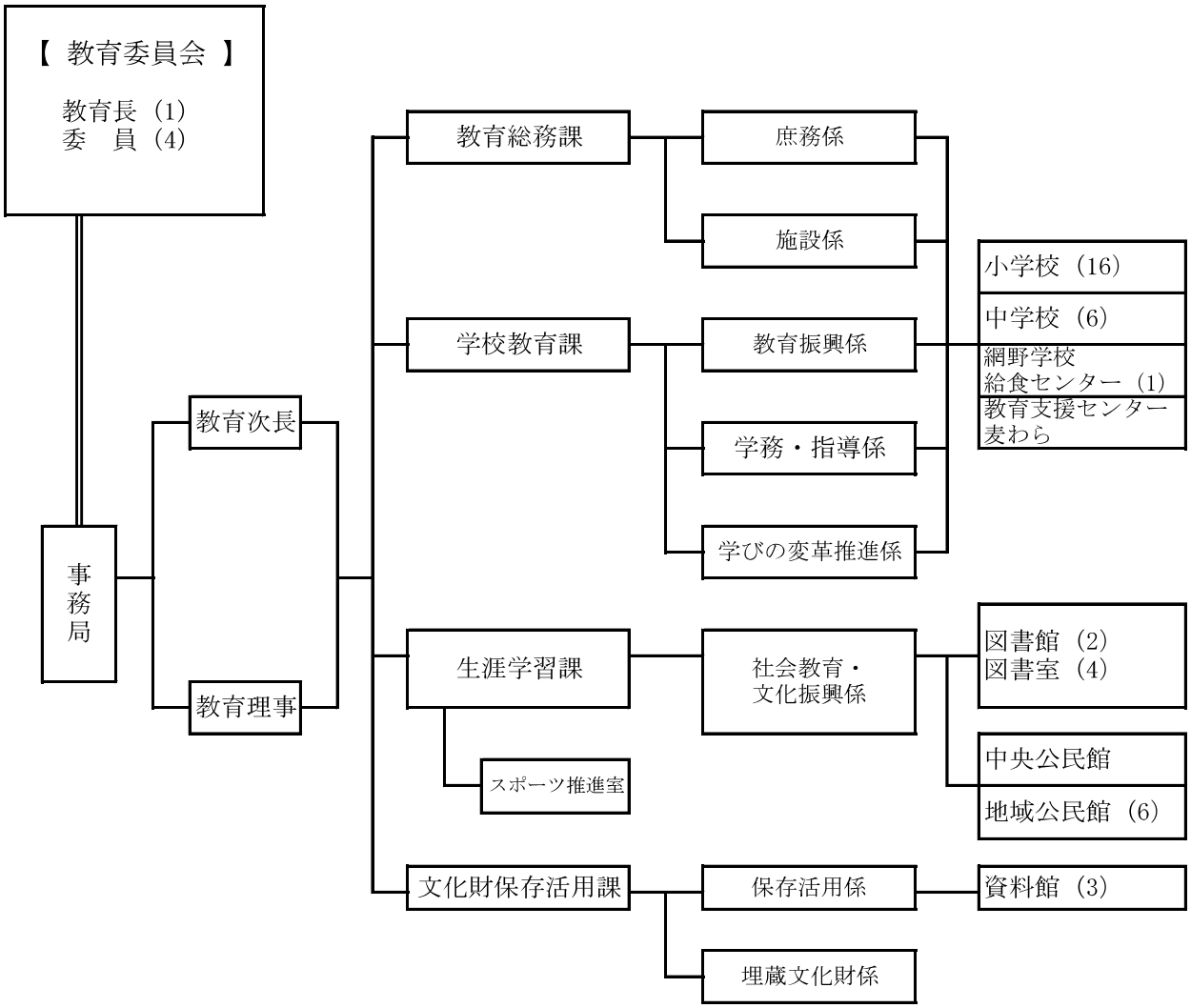
1 教育委員会委員

令和7年4月1日現在

教育長	松本 明彦	（令和3年4月1日～2期目）
教育長職務代理者	野木 三司	（平成24年1月30日～4期目）
委員	関 美幸	（令和4年7月8日～1期目）
委員	田村 浩章	（平成28年7月8日～3期目）
委員	安達 京子	（平成29年7月8日～2期目）

教育委員会組織体制図

令和7年4月1日現在



2 教育委員会事務局事務分掌表

教育総務課

ア　庶務係

（ア）　教育振興基本計画に関すること。

（イ）　教育委員会の会議に関すること。

（ウ）　幼稚園及び学校の設置、廃止等に関すること。

（エ）　教育委員会規則等の制定改廃に関すること。

（オ）　職員の任免、懲戒、服務その他の身分取扱いに関すること。

（カ）　職員の公務災害に関すること。

（キ）　非常勤職員の任用に関すること。

（ク）　京丹後市立学校勤務府費負担教職員安全衛生委員会に関すること。

（ケ）　教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。

（コ）　公印の管理に関すること。

（サ）　文書の収受及び発送に関すること。

（シ）　教育費の予算編成及び決算に関すること。

（ス）　奨学金に関すること。

（セ）　公用車の運行管理に関すること。

（ソ）　広報に関すること。

（タ）　叙勲及び表彰に関すること。

（チ）　寄附採納に関すること。

（ツ）　外国語指導助手に関すること。

（テ）　教育委員会の庶務に関すること。

（ト）　（ア）から（テ）までに掲げるもののほか、他の課に属さないこと。

イ　施設係

（ア）　学校施設の基本計画及び実施計画に関すること。

（イ）　学校施設の維持管理に関すること。

（ウ）　学校施設の防災に関すること。

（エ）　学校施設の国庫負担金（補助金）に関すること。

（オ）　学校施設の施設台帳及び財産台帳に関すること。

（カ）　学校跡施設の維持管理、利活用に関すること。

（キ）　（ア）から（カ）までに掲げるもののほか、教育施設に関すること。

学校教育課

ア　教育振興係

（ア）　学校規模の適正化等の調査及び検討に関すること。

（イ）　学校適正配置に関すること。

（ウ）　学校 ICT 環境整備に関すること。

（エ）　通学区域に関すること。

（オ）　学校評議員に関すること。

（カ）　指導主事の服務に関すること。

（キ）　教育相談の総括に関すること。

（ク）　教育支援センターに関すること。

（ケ）　学校教育の情報発信に関すること。

（コ）　スクールバスの運行管理に関すること。

（サ）　（ア）から（コ）までに掲げるもののほか、教育振興に関すること。

イ　学務・指導係

（ア）　就学に関すること。

（イ）　学齢簿に関すること。

（ウ）　学級編成に関すること。

（エ）　児童生徒数の推計に関すること。

（オ）　教科書の採択及び無償給与に関すること。

（カ）　学校保健、学校安全に関すること。

（キ）　保幼小中一貫教育に関すること。

（ク）　学園運営協議会に関すること。

（ケ）　学校給食、食育に関すること。

（コ）　学校経営、教育活動及び教育課程の指導助言に関すること。

（サ）　研究指定校に関すること。

（シ）　教職員及び講師の任免並びに内申に関すること。

（ス）　教職員の免許更新及び研修に関すること。

（セ）　教職員の服務、公務災害及び給与事務に関すること。

（ソ）　学校の管理運営予算及び教育振興予算の執行に関すること。

（タ）　会計年度任用職員の任用に関すること。

（チ）　（ア）から（タ）までに掲げるもののほか、学務・指導及び学事に関すること。

ウ　学びの変革推進係

（ア）　教育政策の総合的な企画及び調整に関すること。

（イ）　探究的な学びの推進に関すること。

（ウ）　グローバル人材の育成に関すること。

（エ） 教職員の働き方改革に関すること。
（オ） 中学と高校との連携に関すること。
（カ） 学校と地域・企業等との連携に関すること。
（キ） （ア）から（カ）までに掲げるもののほか、学びの変革推進に関すること。

生涯学習課

ア　スポーツ推進室
（ア） スポーツ推進審議会に関すること。
（イ） スポーツ推進計画に関すること。
（ウ） スポーツ及びレクリエーションの振興に関すること。
（エ） 体育施設の整備及び維持管理に関すること。
（オ） 社会体育関係団体に関すること。
（カ） スポーツ観光の推進に関すること。
（キ） スポーツイベント等に関すること。
（ク） （ア）から（キ）までに掲げるもののほか、スポーツの推進に関すること。

イ　社会教育・文化振興係
（ア） 社会教育委員会議に関すること。
（イ） 公民館に関すること。
（ウ） 図書館に関すること。
（エ） 図書館協議会に関すること。
（オ） 子どもの読書活動推進計画に関すること。
（カ） 社会教育施設の整備及び維持管理に関すること。
（キ） 社会教育事業に関すること。
（ク） 社会教育関係団体に関すること。
（ケ） 文化芸術振興審議会に関すること。
（コ） 文化芸術振興計画に関すること。
（サ） 文化芸術の振興に関すること。
（シ） 文化芸術関係団体に関すること。
（ス） （ア）から（シ）に掲げるもののほか、社会教育・文化振興に関すること。

文化財保存活用課

ア　保存活用係
（ア） 文化財保護審議会に関すること。
（イ） 文化財保護団体に関すること。

（ウ）　資料館、文化館等文化財関係施設に関すること。
（エ）　文化財及び歴史文化（以下「文化財等」という。）の普及啓発に関すること。
（オ）　文化財等の補助金に関すること。
（カ）　収蔵資料の管理に関すること。
（キ）　市史編さんに関すること。
（ク）　文化財等の調査及び研究、収集並びに保存に関すること。
（ケ）　文化財等の発信及び活用に関すること。
（コ）　文化財等の情報提供及び指導助言に関すること。
（サ）　文化財保存活用地域計画に関すること。
（シ）　（ア）から（サ）までに掲げるもののほか、文化財等の保存及び活用に関すること。

イ　埋蔵文化財係
（ア）　埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
（イ）　史跡の整備に関すること。
（ウ）　その他埋蔵文化財に関すること。

3 教育委員会の開催状況

(1)教育委員会審議案件等一覧(令和7年4月～令和8年3月)

開催日	会議名	議案番号	議 案 件 名	会 場
令和7年4月1日	4月定例会	12	京丹後市立学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について	大宮庁舎
		報告5	京丹後市スクールガード・リーダーの委嘱について	
		13	専決処分の承認について（京丹後市自治公民館活動交付金交付要綱の廃止について）	
令和7年5月1日	5月定例会	14	欠番	大宮庁舎
		15	京丹後市スポーツ推進審議会委員の解嘱及び委嘱について	
		16	スポーツマルシェ～動いて、感じて、みんなで挑戦！の開催に係る後援について	
		17	～surf carnival～第38回全日本ライフセービング種目別選手権大会の開催に係る後援について	
		18	2025全国教育のうたごえ祭典in宮津の開催に係る後援について	
		19	専決処分の承認について（京丹後市教育委員会における障害を理由とする差別の解消の推進に関する職員対応要領の一部改正について）	
		報告6	京丹後市奨学金選考・検討委員会委員の委嘱について	
		報告7	京丹後市学校評議員の委嘱について	
		20	専決処分の承認について（京丹後市学校適正配置基本計画実施方針の策定について）	
		21	京丹後市立学校条例の一部改正について	
令和7年6月10日	6月定例会	22	京丹後市スポーツ推進審議会委員の解嘱及び委嘱について	大宮庁舎
		23	京丹後市図書館協議会委員の解任及び任命について	
		24	ソエルフェスタ（SoeruFesta）に係る後援について	
		25	第６５回地名フォーラムに係る後援について	
		26	第２５回ライフスキル教育セミナーに係る後援について	
		27	専決処分の承認について（京丹後市社会教育委員の委嘱及び解嘱について）	
		報告8	京丹後市教育支援委員会委員の委嘱について	
		報告9	京丹後市学校給食献立作成委員会委員の委嘱について	
		報告10	京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会委員の委嘱について	
令和7年7月11日	7月定例会	28	京丹後市学校運営協議会規則の一部改正について	大宮庁舎
		29	京丹後市いさなご工房条例施行規則の一部改正について	
		30	京丹後市マスターズビレッジ条例施行規則の一部改正について	
		31	令和８年度使用京丹後市立中学校教科用図書の採択について	
		32	令和８年度使用京丹後市立小学校教科用図書の採択について	
		33	令和７年度京都府小学校教育研究会生活科教育研究大会に係る後援について	
		34	糸井嘉男トークショーに係る後援について	
		報告11	京丹後市教育振興計画進捗管理について	

開催日	会議名	議案番号	議 案 件 名	会　場
令和7年8月1日	8月定例会	35	京丹後市グローバル人材育成事業推進委員会設置要綱の制定について	大宮庁舎
		36	京丹後市琴引浜鳴き砂文化館の指定管理者の指定について	
		37	京丹後市峰山途中ケ丘公園及び京丹後市峰山総合公園の指定管理者の指定について	
		38	Music Fusion in Kyoto 音楽祭（室内楽コンサート）に係る共催について	
		39	TANGOまるっぽ美術館に係る共催について	
		40	第6回チャレンジしようよスポーツの森に係る後援について	
		報告12	保幼小中一貫教育研究推進協議会委員の委嘱について	
		報告13	公益財団法人京丹後市公園緑化事業団の経営状況について	
		報告14	公益財団法人京都府丹後文化事業団の経営状況について	
		報告15	保有個人情報開示決定に係る審査請求の裁決について	
		41	第35回京都府中学校教育研究会技術・家庭科研究大会に係る後援について	
令和7年9月1日	9月定例会	42	第５５回全国健称マラソン大会に係る後援について	大宮庁舎
		43	第５９回久美浜湾一周駅伝競走大会に係る共催について	
		44	若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業「わたしの未来発見！理工チャレンジ教室in京丹後市」に係る後援について	
		45	KYOTO TANGO QUEENS サッカークリニック&J1京都サンガFC観戦バスツアー2025に係る後援について	
令和7年10月1日	10月定例会	46	京丹後クエスト～知識(クイズ)から探究(クエスト)へ。まちの学びをアップデート～に係る後援について	大宮庁舎
		47	峰山地区伝統芸能の総披露に係る後援について	
		48	講演会「日本で稀な木造格納庫を未来へ」に係る後援について	
		49	欠番	
		報告16	欠番	
		報告17	保有個人情報部分開示決定に係る審査請求の裁決について	
		報告18	公文書公開決定に係る審査請求の裁決について	
令和7年11月4日	11月定例会	50	令和６年度教育委員会活動の点検及び評価報告書について	峰山庁舎
		51	京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について	
		52	まるっぽ間人か～にバルに係る後援について	
		報告19	保有個人情報を開示しない旨の決定に係る審査請求の裁決について	
		53	しゃってもフェスタinたんごに係る後援について	
令和7年12月1日	12月定例会	54	京丹後市文化芸術振興審議会委員の解嘱及び委嘱について	大宮庁舎
		55	京丹後市史跡網野銚子山古墳等管理規則の制定について	
		56	京丹後市立学校管理運営規則の一部改正について	
		57	京丹後市立学校通学区域規則の一部改正について	
		58	京丹後市就学前からの保幼小中一貫教育の円滑な実施に係る保育所、認定こども園及び学校の総称に関する規則の一部改正について	
		59	京丹後市教育委員会公印規程の一部改正について	
		報告20	京丹後市市民遺産補助金交付要綱の制定について	

開催日	会議名	議案番号	議 案 件 名	会　場
令和8年1月5日	1月定例会	1	令和８年度全国学力・学習状況調査の実施について	大宮庁舎
		2	京丹後市指定文化財の指定に係る諮問について	
		3	第2回全国高等学校カヌー選抜大会兼第8回全国高等学校カヌー長距離選手権大会に係る後援について	
		報告1	個人情報部分開示決定に係る審査請求の裁決について	
		4	専決処分の承認について（令和７年度京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について）	
		5	京丹後市立学校事故調査委員会設置要綱の制定について	
		6	京丹後市教育相談事業実施要綱の一部改正について	
		報告2	京丹後市立学校事故調査委員会における委員の委嘱について	
令和8年2月2日	2月定例会	7	欠番	大宮庁舎
		8	欠番	
		報告3	保有個人情報の開示をしない旨の決定に係る審査請求の裁決について	
令和8年2月13日	2月臨時会	9	京丹後市社会体育館施設条例の一部改正について	峰山庁舎
		10	京丹後市社会体育施設条例施行規則の一部改正について	
		11	令和８年度教育委員会関係予算について	
		12	令和８年度「学校教育指導の重点」について	
		13	令和８年度「社会教育推進の重点」について	
		報告4	京丹後市市民遺産会議委員の委嘱について	
令和8年2月24日	2月臨時会	14	令和８年度京丹後市立学校教職員の管理職人事異動内申について	大宮庁舎
		報告5	京丹後市奨学金選考・検討委員会委員の委嘱について	
令和8年3月13日	3月定例会	15	令和８年度京丹後市立学校教職員の一般職人事異動内申について	大宮庁舎
		16	京丹後市指定文化財の指定について	
		17	こどもおしごとチャレンジに係る後援について	
		18	道の駅30周年祭に係る後援について	
		報告6	公文書公開決定に係る審査請求の裁決について	
令和8年3月23日	3月臨時会	19	令和８年度京丹後市教育委員会事務局職員の人事異動について	大宮庁舎
		20	京丹後市スポーツ推進委員の委嘱について	
		21	京丹後市文化財保護審議会委員の委嘱について	
		22	京丹後市学校運営協議会規則の一部改正について	
		23	京丹後市就学前からの保幼小中一貫教育の円滑な実施に係る保育所、認定こども園及び学校の総称に関する規則の一部改正について	
		24	京丹後市中学生海外派遣事業参加費補助金交付要綱の一部改正について	
		25	欠番	
		26	京丹後市教育委員会事務局組織規則の一部改正について	
		27	京丹後市学校施設の長寿命化計画の見直しについて	

教育委員会制度について

教育委員会は、都道府県及び市町村等におかれる合議制の執行機関です。創造的で人間性豊かな人材を育成するため、生涯学習の推進をはじめ、教育、文化、スポーツ振興など幅広い分野にわたる教育行政を一体的に推進していく上で、教育委員会制度は重要な役割を担っています。
（教育委員会制度の根拠法律：「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」）
教育委員会制度の意義としては、①地方自治の尊重、②教育行政の中立性と安定性の確保、③指導行政の重視、④教育行政と一般行政の調和、⑤国 ・ 都道府県 ・ 市町村の連携、⑥生涯学習など教育行政の一体的な推進、の６つがあります。

(2)教育委員会委員の主な活動

ア　総合教育会議

開催日	会議名	会議内容等	会　場
令和8年2月13日	第1回総合教育会議	(1) 令和６年度「いじめ・不登校の状況」について (2) 京丹後市立学校教育職員の働き方改革推進及び業務量管理・健康確 保措置実施計画 の策定について (3) 令和８年度予算案の検討状況について	峰山庁舎

イ　管内視察研修

開催日	視察名	視察内容等	場　所
令和7年9月1日	第1回管内視察研修	(1) 視察先：丹後震災記念館 (2) 内　容：施設見学、「丹後震災記念館耐震化・利活用に関する方針 書」の説明等	峰山町





ウ　管外視察研修

開催日	視察名	視察内容等	場　所
令和7年10月28日	第1回管外視察研修	(1) 奈良市立若草中学校 ・リーディングDXスクール事業について	奈良市





エ　教育委員協議会

開催日	会議名	協議内容等	会　場
令和7年7月11日	第2回教育委員協議会	都市拠点公共施設整備基本計画における中央図書館の整備方針について ・整備方針について説明後、質疑・意見交換	大宮庁舎

オ　その他の活動

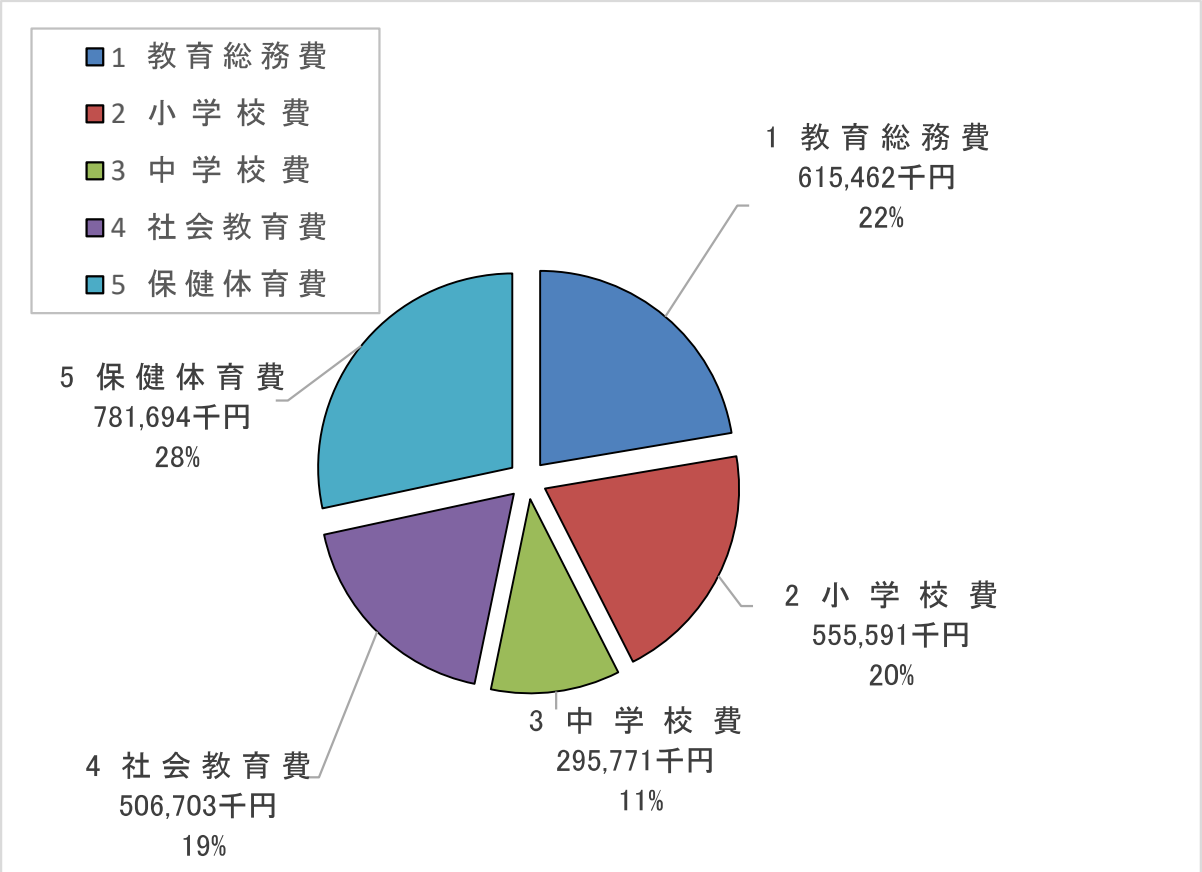
年月日	件　　名	場　所
令和7年4月4日	市内保育所入所・進級式	市内各保育所
令和7年4月7日	市内認定こども園入園・進級式	市内各認定こども園
令和7年4月8日	市内小学校入学式	市内各小学校
令和7年4月10日	市内中学校入学式	市内各中学校
令和7年4月16日	第1回校(園) 長、保育所長会議	大宮庁舎
令和7年5月22日	令和7年度丹後地方教育委員会連合会定期総会	伊根町コミュニティセンター ほっと館
令和7年5月30日	令和7年度京都府市町村教育委員会連合会定期総会・研修会 講演１ 演題　『当面する教育課題と方向性について』 講師　京都府教育庁管理部長 仲井宣夫氏	京都府総合教育センター
令和7年7月8日	教育委員任命通知書交付式（野木依子委員）	京丹後市役所
令和7年10月29日	令和7年度近畿市町村教育委員会研修大会 (1) 講演 テーマ　『子どもの人権と不登校 ～ペアレント・トレーニングを通して自尊感情を育てる～ ～ポリヴェーガル理論で困難な状態の子を支援する～』 講師　奈良教育大学ESD・SDGｓセンター研究員 橿原市教育支援センターカウンセラー　櫻井惠子氏 (2) 事例発表 テーマ『橿原市教育支援センター「虹の広場」での取組について』 発表者 奈良県橿原市教育委員会 学校教育課　指導主事 竹本有紀氏 テーマ『広陵町の学校の諸課題（不登校等）への取り組みについて』 発表者 奈良県北葛城郡 広陵町教育委員会 教育総務課兼学校支援室 主幹兼室長 松本哲知氏	かしはら万葉ホール （奈良県橿原市）
令和7年11月10日	令和7年度丹後地方教育委員会連合会教育委員等視察研修 研修テーマ　先進的な特別支援教育実践や設備を見学し、これからの丹後地域の教育を考える。 視察先　京都府立井手やまぶき支援学校	京都府立井手やまぶき支援学校
令和7年11月17日	令和7年度京都府内市町（組合）教育委員会研修会 演題　『次期学習指導要領に向けて～中教審での審議状況等～』 講師　文部科学省初等中等教育局教育課程課 教育課程企画室長　栗山和大氏	京都テルサ
令和8年1月17日	令和7年度京丹後市教育フォーラム 「Reading Contest」表彰式 パネルディスカッション「Kyotango Sea Labo」の取組より 演題　『「今必要な真の”グローバル人材”とは ～京丹後市のチャレンジ”Give it a try”への期待～』 講師　前さいたま市教育長　細田眞由美氏	アグリセンター大宮
令和8年3月15日	令和8年京丹後市はたちを祝う式典	京都府丹後文化会館
令和8年3月16日	京丹後市立中学校卒業式	市内各中学校
令和8年3月23日	京丹後市立小学校卒業式	市内各小学校
令和8年3月24日	京丹後市立認定こども園卒園式	市立各認定こども園
令和8年3月24日	宇川小学校閉校式	京丹後市立宇川小学校
令和8年3月25日	京丹後市立保育所修了式	市立各保育所
令和8年3月28日	長岡小学校閉校式	京丹後市立長岡小学校

4 教育費予算の概要

（単位：千円）

区　　分	令和７年度	令和６年度	比　較
一 般 会 計 総 額	37,830,000	43,570,000	△ 5,740,000
教　　育　　費	2,755,221	4,414,377	△ 1,659,156
（教育費の占める割合）	7.3%	10.1%	—
1　教 育 総 務 費	615,462	484,322	131,140
2　小　学　校　費	555,591	755,620	△ 200,029
3　中　学　校　費	295,771	494,001	△ 198,230
4　社 会 教 育 費	506,703	624,675	△ 117,972
5　保 健 体 育 費	781,694	2,055,759	△ 1,274,065

民　　生　　費 2　児 童 福 祉 費	4,466,904	4,057,693	409,211
(1)　児童福祉総務費	200,471	186,892	13,579
(4)　保 育 事 業 費	2,783,817	2,585,527	198,290

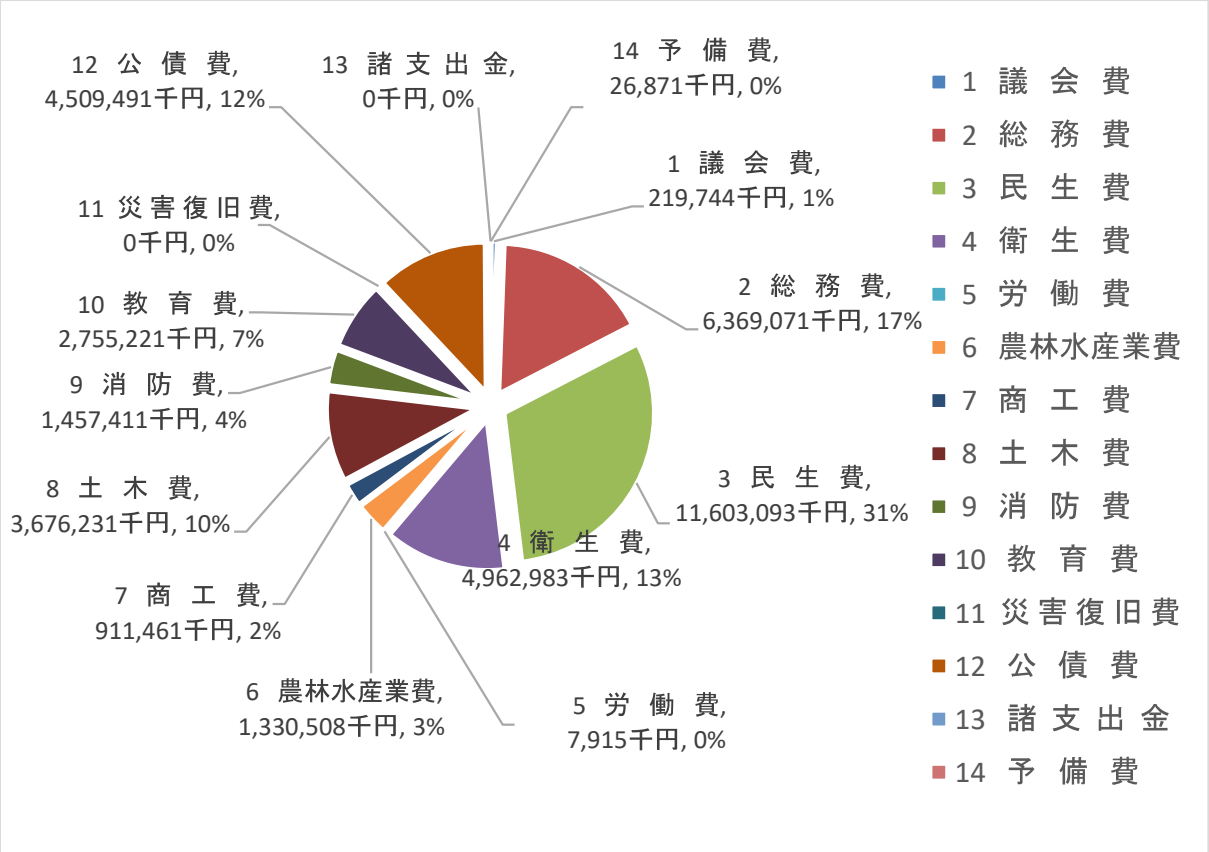


※教育費のみをグラフにしています。

一般会計歳出予算の目的別内訳

（単位：千円）

区　　分	令和７年度	令和６年度	比　較
1　議　会　費	219,744	209,404	10,340
2　総　務　費	6,369,071	11,198,957	△ 4,829,886
3　民　生　費	11,603,093	11,033,223	569,870
4　衛　生　費	4,962,983	5,193,253	△ 230,270
5　労　働　費	7,915	8,387	△ 472
6　農林水産業費	1,330,508	1,353,844	△ 23,336
7　商　工　費	911,461	1,053,636	△ 142,175
8　土　木　費	3,676,231	3,251,620	424,611
9　消　防　費	1,457,411	1,358,772	98,639
10　教　育　費	2,755,221	4,414,377	△ 1,659,156
11　災害復旧費	0	0	0
12　公　債　費	4,509,491	4,470,656	38,835
13　諸支出金	0	0	0
14　予　備　費	26,871	23,871	3,000
合　　計	37,830,000	43,570,000	△ 5,740,000



京丹後市教育振興計画（令和７～１１年度）に係る令和７年度評価

【プロジェクト１】 探究的な学びの充実による確かな学力の向上

高い教育水準を維持し、グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、問題解決能力やコミュニケーション能力の育成を重視するなど、地域の枠を超えた広い意味でのグローバル教育を推進します。

積極的に推進する施策	令和７年度成果と今後の課題
子ども主体の学力観・学習観・指導観の定着による授業改善	令和7年度は、校長会や各研究会等の機会を通じて「今、求められる学び」の発信を重ねた結果、管理職や教員間の理念・知識レベルでの理解（指導観の浸透）においては一定の進捗が見られた。一方で、それが日々の授業で効果が現れるまでには至っておらず、子どもたちの実感値は京都府平均を下回る傾向にあり、前年度からも低下している。小中共通して「アウトプット」「協働・探究」の機会不足が見られる。令和7年度で培った知識ベースの「指導観の浸透」を足がかりに、令和8年度は「具体的な授業実践」へとフェーズを引き上げていく。
丹後学を中心とした「探究的な学び」の具現化による問題解決能力・協働性の育成	『令和7年度版丹後学モデルカリキュラム』を令和6年度末に完成させ、それをもとに、各種研修会等を通じて丹後学の趣旨について積極的な発信を行った。総合的な学習の時間を中心に各校園所における「探究的な学び」の実現に向けた実践も動き出している。学年が上がるにつれて「今住んでいる地域の自然や歴史に関心がある」と感じている児童生徒の割合が高い傾向が見られる。地域素材をテーマとした探究的な学びである丹後学を充実させることで、ふるさと丹後への愛着と誇りをさらに育んでいく。その過程において、問題解決能力及び協働性を育んでいく。
クラウド環境を活用した学習による教育の質の向上	令和7年度は、小中ともに1人1台の端末活用や持ち帰り学習が定着し、多くの指標で京都府平均を上回るなど、「量の確保」において高い成果が見られた。特にAIドリルの活用頻度は全国トップクラスである。また、遠隔授業（丹後中・弥栄中）の導入では、外部専門講師の授業により生徒の高度な探究・思考を引き出す先進的なトライアルについて成果を収めることができた。一方で効果的なICTの活用が学校や担任に依存する傾向や個別最適な支援への活用不足など、「質的な課題」も見られた。令和8年度は端末を「与えられた課題をこなす道具」から「自ら学びをコントロールするツール」へといった「量から質への転換」が焦点となる。

評価を補足する参考値

担当課	計画名等	主な目標指標	目標値	単位	計画作成時（年度）	実績値（R7年度末）	実績値（R8年度末）	実績値（R9年度末）	実績値（R10年度末）	実績値（R11年度末）
学校教育課	第3次総合計画	全国学力・学習状況調査の各教科の平均正答率	全教科全国平均以上	%	小　国語 全国平均以上 算数 全国平均未満 中　国語・数学ともに 全国平均以上 （R6）	小　国語　算数　理科 全国平均未満 中　国語　数学　理科 全国平均未満				
学校教育課	第3次総合計画	前学年までに受けた授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた割合	小 29.5中 前年度以上	%	小　23.8 中　27.6 （R6）	小　23.5 中　21.4				
学校教育課	第3次総合計画	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う割合	小中 前年度以上	%	小　38.1 中　26.3 （R6）	小　31.2 中　23.4				

京丹後市教育振興計画(令和７～１１年度）に係る令和７年度評価

【プロジェクト２】　多様性に富む教育環境の推進

誰一人取り残されることなく学べる環境をつくるために、安全で多様な学びを支える仕組みやＩＣＴを活用した学びの場を整え、教職員も一緒に学びながら、さまざまな背景をもつ人たちが共に理解し合える教育環境を目指しま

積極的に推進する施策	令和７年度成果と今後の課題
安全・安心で多様な学びに対応できる教育環境の整備	安心・安全で多様な学びに対応するための具体的な仕組みづくりの1つとして全中学校に「心の教室相談員」を配置し、「校内フリースクール」等の居場所作りや多様なコミュニケーションの機会を設けることができた。教育支援センターの利用者数は15人（小学生8人、中学生7人）で令和6年度とほぼ同数であったが、家庭訪問によるアウトリーチ型での支援回数が増加した。次年度は、支援員、相談員と学校（担任や学年）との情報共有や連携が一層重要になってくる。そのための方策等を具現化することが課題となる。 また、子どもたちが安心して学びやすい教育環境の整備を主眼に、学校体育館の照明LED化を順次すすめており、今年度は弥栄小学校で実施。いさなご小には多目的トイレを新設し、ほかにも空調設備等の更新を行った。今後の課題としては、学校施設の長寿命化計画に沿った事業着手ができておらず、この予算確保が課題であるとともに少子化の影響から学校適正配置基本計画をふまえた慎重な事業検討がより一層求められている。
ICTを最大限活用できる環境の再構築	令和7年度は、国の方針（第2期GIGAスクール構想）に沿って市内全小中学校の端末更新を実施した。よりクラウド活用に適したOSおよび端末へ切り替えたことで、協働学習や情報共有を円滑に行うための環境を高い水準で整えることができた。一方で、新環境を活かした「AIや学習データの利活用」による指導の個別化や、一人一人の学習状況に応じた学びの支援については、構築した基盤の具体的な運用や教員間での浸透にまで至っておらず、運用手法の整備や利活用の推進が強く求められる。今後は国が示す教育DXのKPIやロードマップ等の目標指標を基に、本市の取組みを推進していく必要がある。
子ども主体の教育を支える教職員の主体的・継続的な学びの実現	令和7年度は、教員の指導力向上に努めるべく、アセスメント力向上を目指した教育相談や心の居場所サポーター、特別支援教育の研修会をはじめ、校務や授業におけるICT/AIの効果的な活用（Google,ELSA School等）、大学教授等の伴走によるパイロット校事業や学力対策委員会との連携研修などを体系的に実施した。今後は、これらの研修会をとおして、教員の学びが「子どもの主体的な学び」を支える指導力向上にどう結びついたかを適切に評価・検証していく必要がある。 また、教職員の主体的・継続的な学びの実現のためには、教職員の働き方改革を進め、生み出された余白時間を有効に活用することが重要だと考える。令和7年度は、各学期の始業日の見直しや長期休業期間における時差出勤の試行、校内の各種取組の精選やICTの効果的な活用等により、教職員のワークライフバランスの向上と時間外在校等時間の改善を図ることができた。令和8年度は現場の意見も踏まえた新たな「京丹後市立学校教育職員の働き方改革推進及び業務量管理・健康確保措置実施計画」を策定することとし、令和7年度に文科省の「学校の働き方改革伴走支援事業」で学んだワークショップ型の取組の経験を活かし、市教委・学校・教職員が一丸となって、さらなる余白時間の創出と有効活用を進めていく。

評価を補足する参考値

担当課	計画名等	主な目標指標	目標値	単位	計画作成時（年度）	実績値（R7年度末）	実績値（R8年度末）	実績値（R9年度末）	実績値（R10年度末）	実績値（R11年度末）
学校教育課	第3次総合計画	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う割合	小 48.8 中 44.2	%	小　40.7 中　36.6 （R6）	小　40.8 中　40.7				
学校教育課		先生や学校にいる大人に困った時相談できると回答した割合	小中 前年度以上	%	小　22.0 中　27.1 （R6）	小　22.4 中　25.5				
学校教育課	第3次総合計画	不登校の児童生徒のうち、学校内外の機関等で専門的な相談指導を受けていない人数	0	人	小0 中4 （R6）	小2 中7				
学校教育課	第3次総合計画	学習の中で PC・タブレットなどのICT 機器を活用することについて、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると思う割合	小 45.2 中 前年度以上	%	小　44.4 中　48.9 （R6）	小　46.9 中　40.4				

【プロジェクト３】 持続可能な地域社会との連携と協働

地域社会との連携を強化し、地域課題に対する実践的な解決活動を教育プログラムに取り入れることで、子どもたちの問題解決能力を高めます。

積極的に推進する施策	令和７年度成果と今後の課題
保幼小中一貫教育を基盤とした中高連携の促進	全学園が学園の教育目標実現のため、授業研究会をはじめ様々な取組を進めることができた。6学園ともに、評価アンケートを実施し、成果と課題をまとめることができいる。特に、一貫教育全市展開の10年の節目を迎え、学園目標の見直しを行い、一貫教育を手段に教育内容の充実を図るという意識は高まっている。府立高校との連携では、高校生の出前授業を活用し、児童生徒と高校生の交流ができた。また、府立高校生を対象とした教育委員会事業も実施し、小中学生対象の事業にボランティアとして参加する生徒もでてきており、良い循環が生まれている。今後は、一貫教育として本市の小中学校が実施している取組を高等学校に知ってもらうことから始めていきたい。
学校園所・地域・企業連携の推進	地域の教育力向上と活性化に向け、保幼小中一貫教育の枠組みを活用し、地域と緊密に連携した取組を展開した。各学園の掲げる「目指す子ども像」の実現に向けた学園運営協議会との連携、学園地域コーディネーターを中心とした学校支援ボランティアの積極的な活用等により、地域学校協働活動（学校園所と地域連携）の充実に努めた。一方で、「地域の大人に授業や放課後などの勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらった体験がある」と回答している児童生徒の割合が半数に満たない状況である。子どもたちを地域で育てていく意義について理解を求め、地域や団体など、それぞれの立場でできることは何かについて働きかけていきたい。
探求コーディネーターを軸にした地域連携の強化	探究コーディネーターを中心として企業や団体への訪問を積み重ね、相互の信頼関係に基づき、人材バンクのリストを充実させることができた。（R7年度末現在のリスト数は53事業所）一方で、構築したリストを効果的に運用するための仕組みの整備が課題であり、現状は特定の学園でのリストの活用・連携に留まっている。今後は、専任の探究コーディネーターを配置するなど、人材リストの構築と運用を一層進め、学校と地域がよりスムーズに連携できる体制づくりを推進する。

【プロジェクト４】 リスキリング（新たな学び直し）や生きがいづくりの環境整備による生涯学習の推進

多様化する現代社会で求められる変化に柔軟に対応できる能力を培うことを目的とした生涯学習の機会を提供し、全世代の市民が新しい知識やスキルを身につけることのできる環境を整備します。

積極的に推進する施策	令和７年度成果と今後の課題
「高齢者大学」を「京丹後市民大学」として充実・発展	令和7年度から高齢者大学を京丹後市民大学とし、対象者を18歳以上としてリニューアルした。対象者を18歳以上としたことで、土日祝日の開催や平日夜間の開催など参加しやすい開催日の設定、また若い世代の方にも参加したいと思ってもらえるような魅力ある講座の開催など、さらなる充実・発展を検討していく必要がある。
地域公民館活動を新たな地域コミュニティ組織へ移行	令和7年度から地区公民館が新たな地域コミュニティ組織へ移行したことに伴い、地域公民館と市長部局、社会福祉協議会で組織する「地域共生ステーション」で新たな地域コミュニティ組織へ公民館活動について情報提供を行った。しかし、組織として発足したばかりであることから、万全の体制とは言えない組織もあるため、新たな地域コミュニティ組織が公民館活動をどのように位置づけて取り組んでいくのか、その方向性やニーズを把握し情報提供していく必要がある。
生涯学習を支える図書館活動の推進	令和7年度には図書館システム及び端末の更新を行い、マイナンバーカードで本を借りたり、館内検索機にログインできるマイナンバーカード連携サービスを開始した。また、他団体と連携して取組む事業や全館で取組む事業など、図書館利用につながる新たな取組を行った。しかし、貸出冊数や図書館行事への参加は減少傾向にあり、引き続きサービスの周知、利便性の向上に努める必要がある。

評価を補足する参考値

担当課	計画名等	主な目標指標	目標値	単位	計画作成時（年度）	実績値（R7年度末）	実績値（R8年度末）	実績値（R9年度末）	実績値（R10年度末）	実績値（R11年度末）
生涯学習課	第3次総合計画	地域公民館施設の利用回数	7,000	回	3,775（R5）	4,344				
生涯学習課	第3次総合計画	市民１人当たりの年間図書貸出数	7	冊	5.38（R5）	4.94				

【プロジェクト５】 歴史文化・文化芸術を生かした教育とまちづくりの推進

地域独自の歴史文化を生かした教育を通して、ふるさと京丹後への愛着と誇りを育みます。また、主体的な文化芸術活動を推進することにより、文化芸術の薫り高いまちづくりに寄与します。

積極的に推進する施策	令和７年度成果と今後の課題
網野銚子山古墳の管理・活用	平成30年度から取り組んでいた史跡整備事業が完了し、ガイダンス施設・駐車場を備えた史跡スポットの整備が完了した。また、史跡活用デモイベントとして史跡整備完了記念式典・イベントを実施、市内外から約1,000人の来場者が訪れた。今後は、広く一般の方々に古墳を理解してもらう取組を進めるとともに、地元住民が主体的に古墳を利活用した活動を行うことができるように啓発して行くことが課題である。
丹後震災１００周年の取組を始めとした、歴史文化の活用の推進	丹後震災記念館の耐震診断調査・工法調査・公民連携サウンディング調査を行い、耐震化・利活用検討委員会において基本計画を策定した。丹後震災100年に向けて、京都府デジタルアーカイブ事業に取り組み、震災資料のデジタル化や復興建築等の3D化を実施するとともに、100年記念プレイベントとして小中学生を対象とした「100年越しのシャッター」や巡回展示「第５５回丹後震災記念展」を開催し機運醸成を図った。
「みる」「知る」を具現化する文化芸術事業の推進	京丹後アートフェスティバルの『みるプログラム』では、市内の文化芸術団体に関する情報を集約したアートマップを作成し広報を行ったことで、市民の鑑賞体験を推進した。また、民間のイベント主催者と連携したことで、市内の文化芸術環境を充実させるためのネットワーク形成につながり、より効果的な情報発信を行うことができた。 『知るプログラム』では丹後に拠点を置きながら国内外で活躍する若手アーティストを講師に迎え展覧会やワークショップを開催したことで、参加した市民に、地域の文化的資源を再認識する機会を提供することができた。

評価を補足する参考値

担当課	計画名等	主な目標指標	目標値	単位	計画作成時（年度）	実績値（R7年度末）	実績値（R8年度末）	実績値（R9年度末）	実績値（R10年度末）	実績値（R11年度末）
文化財保存活用課	第3次総合計画	文化財セミナー等関連事業への参加者数（文化財行政）	1,000	人	668（R5）	820				
生涯学習課	第3次総合計画	文化芸術事業の開催回数	60	回	56（R5）	40				

【プロジェクト６】 健やかな体づくりと生涯スポーツの推進

子どもたちにスポーツに親しむ習慣を確立させるとともに、健康の維持・増進に関わる基礎を育みます。また、子どもから高齢者まで年代、目的に応じた運動・スポーツ活動を促進するとともに機会づくりに寄与します。

積極的に推進する施策	令和７年度成果と今後の課題
誰もが気軽に楽しめる運動や「ニュースポーツ」の推進	公共スポーツ施設は、令和７年度に年間16,433回の利用があり、１日平均45回の利用があることとなり、市民が気軽にスポーツができる環境の整備はできている。しかし、成人の週１回以上のスポーツ実施率は、33.6%にとどまっている。これは、多くの市民がスポーツ参加に踏み出せていないことが考えられる。今後、地域コミュニティとも連携しながら、年齢や体力に関係なく誰もが気軽に楽しめるニュースポーツ（グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ソフトバレー、モルックなど）の機会の提供とスポーツの情報発信の強化に取り組む必要がある。
スポーツ観光のまちづくり	令和7年度は予定したイベントはすべて実施することができ、既存イベントの参加者は年間13,080人であり、昨年と比べると微増である。しかし、第２次スポーツ推進計画の目標数値20,000人には達していない状況です。新規イベント誘致やスポーツ合宿誘致の強化が課題である。来年度、ワールドマスターズゲームズ2027関西に向け機運醸成を図りながら、豊かな地域資源を活かしたスポーツ観光事業に積極的に取り組む必要がある。

評価を補足する参考値

担当課	計画名等	主な目標指標	目標値	単位	計画作成時（年度）	実績値（R7年度末）	実績値（R8年度末）	実績値（R9年度末）	実績値（R10年度末）	実績値（R11年度末）
生涯学習課	第2次スポーツ推進計画	スポーツイベント参加者数（年）	20,000	人	12,078（R5）	13,080				
生涯学習課	第2次スポーツ推進計画	公共スポーツ施設の利用回数	16,000	回	15,407（R4）	16,433				
生涯学習課	第2次スポーツ推進計画	成人の週１回以上のスポーツ実施率	65	%	49.7（R4）	33.6				
生涯学習課	第2次スポーツ推進計画	青少年スポーツ教室参加率	45	%	35.3（R4）	38.9				

６ 主要な決算の概要

小学校施設改修事業

中学校施設改修事業

事務局一般経費

教育支援センター管理運営事業

保幼小中一貫教育推進事業

学校情報化推進事業

グローバル人材育成事業

学校適正配置推進事業

中学校丹後学等教育活動実践事業

小学校給食管理運営事業

中学校給食管理運営事業

学校給食センター施設整備事業

青少年教育事業

文化芸術事業

人権教育事業

地域公民館管理運営事業

図書館管理運営事業

社会体育団体育成事業

地域スポーツ推進事業

スポーツイベント推進事業

体育施設管理運営事業

遺跡整備事業

地域文化財総合活用推進事業

放課後児童健全育成事業

子育て支援センター事業

子育て環境整備事業

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費				99.9 %		
	目	01 小学校管理費	74,858千円	74,861千円	3千円	(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	03 小学校施設改修事業				32,800千円		

まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実

目的

児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校の改修工事等を行う。

主な財源

国補	学校施設環境改善交付金（5.5/10）	21,314千円
市債	小学校施設整備事業債（緊急防災･減災事業債）	19,800千円
市債	小学校施設整備事業債（過疎債）	22,700千円

主要な事務・事業の概要

○小学校体育館LED化工事（弥栄小学校1校）	15,728千円
・工事監理委託料	658千円
・工事請負費	15,070千円
○いさなご小学校多目的トイレ設置及び図工室等改修工事	40,899千円
・工事設計監理委託料	2,524千円
・工事請負費	38,375千円
建築主体工事	28,963千円
機械設備工事	9,412千円
○その他改修等工事	14,111千円
・網野南･島津小学校簡易車庫等設置工事	1,619千円
・久美浜小学校4年生教室空調設備設置工事	1,604千円
・橘小学校体育館屋根雨漏り修繕工事	995千円
・かぶと山小学校漏水修繕工事	985千円
・高龍小学校体育館屋上雨漏り修繕工事	992千円
・宇川小学校保健室空調設備修繕工事	946千円
・各小学校施設改修工事ほか12件	6,970千円
○令和8年度工事に向けた設計業務委託	4,120千円
・網野北･網野南･橘･島津小学校体育館LED化工事設計	

成果・課題

○いさなご小学校多目的トイレ設置及び図工室等改修工事、弥栄小学校体育館のLED化工事を行うなどの施設整備を行い、良好な教育環境を整えることができた。
○学校施設の長寿命化を計画的に実施する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	02 小学校費				71.9 %		
	目	01 小学校管理費	113,609千円	157,960千円	44,351千円	(参考)繰越予算額	課	教育総務課
	事業	03 小学校施設改修事業（繰越）				157,960千円		

まちづくり27の施策	02 未来を拓く学校教育の充実

目的

児童が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、小学校（2校）施設の改修工事等を行う。

主な財源

市債	小学校施設整備事業債（合併特例債）	105,700千円

主要な事務・事業の概要

○峰山小学校擁壁改修工事	105,999千円
・工事修正設計･地質調査委託料	7,044千円
・工事請負費	98,923千円
・駐車場補償金	32千円
○網野北小学校下水道接続等改修工事	7,610千円
・工事監理委託料	498千円
・浄化槽最終清掃等業務委託料	2,162千円
・工事請負費	4,950千円

成果・課題

網野北小学校下水道接続等改修工事、峰山小学校擁壁改修工事を行い、児童の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費				100.0 %		
	目	01 中学校管理費	4,967千円	4,967千円	0千円	(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	03 中学校施設改修事業				1,770千円		

まちづくり27の施策：02 未来を拓く学校教育の充実

目的

生徒が安全に、安心して学校生活を送ることができるよう、中学校の改修工事等を行う。

主な財源

主要な事務・事業の概要

○各種改修工事	3,757千円
・峰山中学校給食室給湯器取替工事	482千円
・大宮中学校校長室空調更新工事	1,045千円
・大宮中学校水道修繕工事	770千円
・大宮中学校給食食品保管庫屋上防水改修工事	286千円
・久美浜中学校テニスコートネット支柱改修工事	288千円
・久美浜中学校職員室空調設備改修工事	886千円

○令和8年度工事に向けた設計業務委託	1,210千円
・丹後中学校階段昇降機設置等工事設計業務委託	

成果・課題

○生徒の安全・安心を最優先に施設整備を行うことにより、良好な教育環境を整えることができた。
○学校施設の長寿命化を計画的に実施する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				98.2 %		
	目	02 事務局費	11,671千円	11,884千円	213千円	(参考)当初予算額	課	教育総務課
	事業	50 事務局一般経費				12,527千円		

まちづくり27の施策：02 未来を拓く学校教育の充実

目的

教育委員会事務局の円滑な運営のための経費を計上するとともに、全国部活動特別入学選抜による入学生に補助金を交付し、生徒の就学支援及び地域の活性化を図る。
また、部活動の地域移行等に関する各検討会を設置、運営するもの。

主な財源

繰入金	韓哲･まちづくり夢基金繰入金	2,990千円
諸収入	市有自動車損害共済金	269千円

主要な事務・事業の概要

○事務局運営に係る経費	6,892千円
・会計年度任用職員任用経費（事務補助員2人）	6,252千円
・教育委員会活動点検評価謝金（2人）	40千円
・交際費	10千円
・出張旅費（教育長、職員等）	370千円
・消耗品費ほか	220千円
○公用車の維持管理経費	1,574千円
○各協議会、団体への負担金	133千円
○高等学校全国募集入学生応援補助金	2,340千円
・令和5･6年度入学生	900千円
月額15千円×12月×5人	
・令和7年度入学生	1,440千円
月額20千円×12月×6人	

【所管：学校教育課】	
○京丹後市地域部活動検討会議経費	82千円
・委員会謝金（9人×2回）	72千円
・費用弁償	10千円
【所管：生涯学習課（スポーツ推進室）】	
○激励金（スポーツ大会等出場：58人）	650千円

成果・課題

○高等学校全国募集入学生応援補助金により、地域のスポーツ風土を生かした部活動を応援することで、人材の育成及び地域の活性化に寄与した。
○部活動の地域移行を検討するにあたり、本市の部活動の現状、各関係機関の意見、近隣市町の状況を確認することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	款	10 教育費						
	項	01 教育総務費				99.6 %		
	目	02 事務局費	14,340千円	14,393千円	53千円	(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	08 教育支援ｾﾝﾀｰ管理運営事業				14,997千円		
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実						

主な財源		
府補	教育支援体制整備事業費補助金（1/3）	268千円
繰入金	ふるさと応援基金繰入金	8,000千円

目的

心理的要因等による不登校又はその傾向にある児童生徒に対し、所属校や保護者との信頼関係のもと、集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充及び基本的生活習慣の改善など、個々の状況に応じて段階的に支援することにより、将来の社会的自立を目指す。

主要な事務・事業の概要

不登校やその傾向にある児童生徒について、個々の状況をふまえ、多様な学びの機会をとおして、社会的自立の基盤となる自己肯定感や自己有用感が育める居場所として教育支援センター「麦わら」を設置

○会計年度任用職員任用経費（5人分）	13,853千円
○消耗品費（事務用品、コピー代、医薬材料費）	107千円
○管理経費（燃料費、修繕費）	102千円
○役務費（電話代、切手代、Wi-Fi通信費）	95千円
○使用料及び賃借料（コピー機借上料）	163千円
○備品購入費（図書）	20千円

＜教育支援センター運営体制・実績＞

- 配置人数　5人 教育支援センター支援員（会計年度任用職員）
- 配置体制　1日当たり3人　（各支援員　週3日　1日7時間）
- 通所児童生徒数　15人　（小学生8人、中学生7人）
- 相談延べ件数　811件
- 来所延べ人数　1,224人
- 延べ訪問回数　32回

年度	R3	R4	R5	R6	R7
通所利用登録者	15人	13人	17人	17人	15人

教育支援センター（峰山町杉谷）の開設は、平成25年1月31日

成果・課題

○教員経験の豊富な支援員による児童生徒等への学習及び生活の支援やスクールカウンセラーやソーシャルワーカーのカウンセリングなどにより、個々のケースに応じた支援を行い、基本的生活習慣の改善をはじめ、教室や学校復帰、進路実現等の社会的自立を促進することができた。
○市内の小学校の不登校数が増加していることから、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等とも連携し、支援センターの中核機能を果たす上で個々の状況をアセスメントするとともにアウトリーチ型の訪問等を各校へ行うなど、支援を確実かつ的確に行う必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	款	10 教育費						
	項	01 教育総務費				87.9 %		
	目	02 事務局費	4,269千円	4,855千円	586千円	(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	13 保幼小中一貫教育推進事業				4,655千円		
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実						

主な財源		
府補	きょうと地域連携交付金	1,557千円
府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）	186千円

目的

「京丹後市の学校教育改革構想」に基づき、子どもたちの育ちと指導の一貫性を目指すより良い教育の実現に向け、協議会及び専門部会で調査研究を行う。
また、子どもたちの学びを支える教員の授業力と学級経営力を高めるための研修を実施し、指導の一貫性を通じて子どもたちの確かな学力、豊かな心を育成する。

主要な事務・事業の概要

○保幼小中一貫教育研究推進協議会（委員謝金、費用弁償）　109千円
- 委員　16人（学識経験者、学校運営協議会、教職員、保護者等）
- 開催回数　2回（12月･3月）
- 調査研究内容　保幼小中一貫教育実施校における取組及び研究の報告

○丹後学モデルカリキュラム改訂（委員謝金、費用弁償）　9千円
- 委員　12人（教職員、地元有識者等）
- 開催回数　1回（6月）
- 内容　モデルカリキュラム冊子（改訂版）の活用状況の確認

○学力向上対策会議研修会（講師謝金、消耗品費）　67千円
- 開催日　令和7年11月11日（火）・場所　橋小学校　参加者32人
- 対象　市内小中学校教員、教育関係者
- 講師　樋口 万太郎　氏（中部大学現代教育学部現代教育学科　准教授）
- 内容　児童生徒の学力向上を目指し、実際の授業を通して指導方法を学ぶ

○保幼小中一貫教育研修会（講師謝金）　70千円
- 開催日　令和7年7月9日（水）～7月11日（金）他4日　・参加者83人
- 対象　市内学校園所教員、教育関係者
- 講師　大野 大輔　氏（㈱先生の幸せ研究所　学校園専門コンサルタント）
- 内容　「子ども主体」の教育へ向かって、教職員の意識改革を図る

○教育フォーラム（講師謝金、消耗品費）　70千円
- 開催日　令和8年1月17日（土）・場所　アグリセンター大宮　参加者270人
- 対象　教育委員、保幼小中一貫教育研究推進協議会委員、学園運営協議会、丹後教育局、他市町教育関係者、一般参加者　他
- 講師　細田 眞由美　氏（前さいたま市教育長）
- 内容　「Give it a try」本市の目指すグローバル人材育成への挑戦

○特色ある学校づくり、保幼小中連携の取組（各中学校区単位）　3,914千円
- 合同講演会、合同授業、部活動体験、体験入学、合唱祭等の保幼小中連携
- 合同校外学習、交流学習などの小小連携
- 学園リーフレットの作成、学園あいさつ運動、学園全体研修会の開催

○事務経費　30千円
小中一貫教育全国連絡協議会負担金

成果・課題

○保幼小中一貫教育研究推進協議会、モデルカリキュラム改訂などにより研究と検証を積み重ね、保幼小中一貫教育推進基本計画に基づく各学園の取組評価等をPDCAサイクルにより進めることができた。
○研修会の開催により、児童生徒の学力向上や学校園所づくりの方法等について学ぶ機会を提供することができた。また、教育フォーラムを開催し、本市の教育の在り方について市民への周知を行うことができた。
○特色ある学校づくりや保幼小中連携の取組の実施により、「丹後学」の充実や学園内の学校園所が一体となった教育活動を行うことができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費	54,008千円	70,037千円	16,029千円	77.1 %	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	目	02 事務局費				110,794千円		
	事業	15 学校情報化推進事業						
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実						

主な財源		
府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）	165千円
財産収入	物品売払収入	19,932千円

目的

GIGAスクール構想に基づいて整備したICT環境を活用し、児童生徒にとってわかりやすく魅力のある授業を進め、児童生徒の情報利活用能力を育成するほか、児童生徒・教職員1人1台端末等の電子機器の導入、校内LAN及び学校情報通信ネットワークを維持管理するとともに、教育のICT化及び校務の効率化を図る。

主要な事務・事業の概要

○需用費	1,356千円
・パソコン･校内LAN関連消耗品、修繕費	1,356千円
○通信運搬費	1,089千円
・Wi-Fiルータ通信費、光回線通信費	1,089千円
○手数料（電子黒板等移設手数料）	292千円
○委託料	13,192千円
・サーバー･パソコン･校内LAN等保守委託料	1,320千円
・校務支援システム保守委託料	726千円
・ICT支援員業務委託料（3人）	10,310千円
・通信機器等設定業務委託料	836千円
○使用料及び賃借料	34,368千円
・パソコン借上料（サーバー･学習用端末）	16,196千円
・ソフトウェア使用料（授業支援システム等）	18,104千円
・クラウドサービス利用料（Googleアカウントドメイン等）	68千円
○備品購入費（電子黒板接続機器、無線AP機器）	3,711千円

参考		
	繰越明許費を除いた最終予算額	54,384千円
	実質的な執行率	99.3%

■令和8年度への繰越事業　15,653千円
・通信機器等設定業務委託料（令和8年11月完了予定）

＜参考＞パソコン等台数（令和8年3月末時点）　（単位：台）

区分	種別	小学校	中学校	事務局	合計
普通教室用	ノートPC	16	0	0	16
	タブレット	146	57	0	203
	タッチパネル式電子黒板	146	57	0	203
校務用	ノートPC	300	201	41	542
図書室用	ノートPC	16	6	0	22
学習用	Chromebook	2,616	1,324	60	4,000

成果・課題

○令和2年度に導入した児童生徒・教職員1人1台端末をリースにより更新することができた。
○ネットワークを利用した遠隔操作等により、小中学校等に整備した校内LAN、パソコン（校務、普通教室、学習用）、電子黒板及びサーバー機器、プリンタ、電子黒板接続装置等の維持管理を適切に行うことができた。
○引き続きICT支援員を適切に配置し、授業改善に向けて児童生徒と教職員のICT機器や授業支援システムを積極的に利活用していく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費	36,208千円	36,217千円	9千円	99.9 %	部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				(参考)当初予算額	課	学校教育課
	目	02 事務局費				38,332千円		
	事業	16 ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ人材育成事業						
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実						

主な財源		
府補	子どもの教育のための総合交付金（1/2）	9,490千円
繰入金	韓哲･まちづくり夢基金繰入金	26,598千円
諸収入	国際交流事業等参加料	120千円

目的

国際感覚を持ち将来グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、市内の小中学校に在籍する児童生徒を中心に、諸外国への興味関心を深め文化や伝統を理解する機会を創設し外国語教育の充実を図るとともに、産学連携のもと新たな可能性を創造するSTEAM教育の推進を図る。

主要な事務・事業の概要

○Kyotango English Day【対象：小3・4年】　17千円
CIR・ALTによる異文化理解・国際交流プログラム
実施日：令和7年10月4日（土）　参加者数：17人
（施設使用料）

○Kyotango English Camp【対象：小5・6年】　361千円
CIR・ALTによる1泊2日の異文化理解・国際交流プログラム
実施日：令和7年10月4日（土）・5日（日）　参加者数：20人
（通信運搬費、施設使用料）

○オンライン留学【対象：中1年、高校生】　9千円
フィリピンとのオンライン交流を実施
※全体研修8回、各家庭でのオンライン交流複数回
事業期間：令和7年10月7日（火）～12月9日（火）
参加者数：中学生20人、高校生10人
（国際交流事業謝礼品、通信運搬費）

○英語力向上支援ソフト導入【対象：中1～3年、小5・6年】　20,916千円
一人一台配付しているタブレットにソフトを導入し、学校及び家庭学習において発音とスピーキング能力を中心とした英語力の向上に取り組んだ。
（ライセンス使用料ほか）

○中学生の海外派遣【対象：中2年】　10,874千円
学校での授業やホームステイを通じて、語学力の向上及び国際的視野を持った人材を育成するため、中学生を海外へ派遣した。
派遣先：オーストラリア　パース　参加者数：20人（選考）
派遣期間：令和8年3月14日（土）～22日（日）　8泊9日間
（旅費、中学生海外派遣事業費補助金ほか）

○Kyotango Sea Labo【対象：中3年・高2年】　4,031千円
グローバル社会で活躍できる人材を育成するため、丹後学・デザイン思考・STEAM教育の要素を融合させたプログラム（ワークショップ）を英語で開催した。
実施日：令和7年8月4日（月）～8日（金）・9月8日（月）
参加者数：27人（中学3年生：18人、高校生：9人）
（委託料、講師謝金、費用弁償、施設使用料ほか）

成果・課題

○国際交流事業を推進することにより語学力の向上及び国際的視野をもった人材を育成することができた。
○ICTの活用やオンラインによる交流を充実させることにより、生徒の学ぶ意欲の向上を促進するとともに、国際的視野を広げることができた。
○京丹後市版のプログラム（R6完成）を実施し、丹後学・デザイン思考・STEAM教育を通して、創造性を育むとともに、丹後に愛着を持ち、丹後の産業や文化を誇りに思う気持ちの醸成につながった。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	01 教育総務費				71.5 %		
	目	02 事務局費	673千円	940千円	267千円	(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	19 学校適正配置推進事業				0千円		
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実						

目的

「京丹後市学校適正配置基本計画」を円滑に推進するため、適正配置に向けた具体的な取組を進めるとともに、適正配置校・拠点校の式典準備を実施する。

主な財源

主要な事務・事業の概要

○適正配置関連経費 673千円

- 消耗品（式典用消耗品、看板、装飾花 他） 231千円
- 手数料（ごみ持込処理手数料、備品移設手数料 他） 442千円

令和8年4月適正配置

適正配置校	拠点校	学校づくり準備協議会
長岡小学校	いさなご小学校	令和7年4月23日設置
宇川小学校	丹後小学校	令和7年4月28日設置

成果・課題

○「学校づくり準備協議会」を設立するとともに、協議・検討結果等を踏まえ、計画通りに適正配置を実施することができた。
○必要な物品等の準備や移設を計画的に進めたことで、長岡小学校、宇川小学校の閉校式及びいさなご小学校、丹後小学校の拠点校としての準備を円滑に実施することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	03 中学校費				88.7 %		
	目	02 中学校教育振興費	941千円	1,060千円	119千円	(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	05 中学校丹後学等教育活動実践事業				1,060千円		
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実						

目的

教員の指導力向上や、生徒の自己肯定感を高め未来を拓く力を身につけるため、地域の学習を通じて郷土への理解、愛着と誇りを高め、将来の自己の生き方・在り方の探究を進める「丹後学」の充実を図る。
また、教育課題の解決に向けた教職員の研究事業に取り組む。

主な財源

主要な事務・事業の概要

○丹後学等教育活動実践事業 571千円

- 着付け体験学習（クリーニング代金、講師謝金　等） 195千円
  参加者：366人（2・3年生対象）
- 丹後学、総合的な学習活動 376千円
  市単独事業、全中学校で実施（講話学習、職場体験　等）

○教育研究事業負担金 56千円
京丹後市中学校教育研究会
中学校教育に関する研究を推進し、教職員の資質の向上と中学校教育の推進を図るため、各教科の研究、研究集録・指導案の作成を実施。

○修学旅行引率補助金 314千円
6校、引率教員46人

成果・課題

○地域社会における仕事や文化の体験活動を通して、丹後学の推進につながった。
○生徒の基礎学力の向上や豊かな人間性を育てる教育を継続していくため、教職員の資質の向上や創意工夫による実践活動が必要である。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費				99.7 %		
	目	04 学校給食費	281,319千円	282,040千円	721千円	(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	03 小学校給食管理運営事業				280,322千円		
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実						

主な財源

国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	40,475千円
市債	小学校給食備品整備事業債（過疎債）	11,000千円

目的

児童の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。
また、給食費の保護者負担を１食200円に統一することにより、保護者の経済的負担を軽減する。

主要な事務・事業の概要

小学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。

○給食調理　13,433千円
- ・燃料費（ガス）　12,372千円
- ・修繕料（調理機器）　1,061千円

○給食調理業務委託料（網野地域を除く全12校）　217,668千円
峰山、いさなご、しんざん、長岡、大宮第一、大宮南、丹後、宇川、弥栄、久美浜、高龍、かぶと山小学校

○備品購入費　12,252千円

スチームオーブン（いさなご小・丹後小・久美小）3台		7,502千円
ガス回転釜（丹後小・高龍小）	2台	1,000千円
ガス立体炊飯器（峰山小）	1台	793千円
消毒保管庫（いさなご小）	1台	1,286千円
冷蔵庫（いさなご小）	1台	512千円
牛乳保冷庫（弥栄小）	1台	553千円
アレルギー対応用食器・トレイ	90枚	473千円
食器、炊飯器の釜（高龍小・大宮第一小）		133千円

○学校栄養士協議会等負担金　25千円

○学校給食材料費支援補助金　37,941千円
保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の保護者負担を1食200円に統一し、食材費との差額を支援する。

成果・課題

○給食調理業務の民間委託を行うなど、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。
○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。
○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。
○保護者負担を1食200円に統一し、差額分を学校給食材料費支援補助金として交付することで物価高騰による保護者負担を軽減できた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費				99.8 %		
	目	04 学校給食費	112,412千円	112,628千円	216千円	(参考)当初予算額	課	学校教育課
	事業	04 中学校給食管理運営事業				115,008千円		
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実						

主な財源

国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	25,300千円
市債	中学校給食備品整備事業債（過疎債）	1,500千円

目的

生徒の心身の健全な発達に寄与するため、栄養バランスのとれた給食を提供する。
また、給食費の保護者負担を1食200円に統一することにより、保護者の経済的負担を軽減する。

主要な事務・事業の概要

中学校の給食を提供するために必要な体制の確保と、調理機器の整備などの維持管理等を行った。

○会計年度任用職員任用経費　2,260千円
- ・調理補助員：峰山中学校1人

○給食調理　6,828千円
- ・消耗品費　293千円
- ・燃料費（ガス）　5,877千円
- ・修繕料（調理機器）　641千円
- ・手数料（包丁研磨）　17千円

○給食調理業務委託料（4校）　75,926千円
大宮、丹後、弥栄、久美浜中学校

○備品購入費　2,058千円

ガス回転釜（峰山中）1台		1,033千円
ガス立体炊飯器（大宮中）1台		500千円
アレルギー対応食器・トレイ	40枚	252千円
食器（大宮中）		273千円

○学校栄養士協議会等負担金　37千円

○学校給食材料費支援補助金　25,303千円
保護者の経済的負担を軽減するため、給食費の保護者負担を1食200円に統一し、食材費との差額を支援する。

成果・課題

○給食調理業務の民間委託を1校（大宮中）追加し、給食を提供するために必要な体制の確保と効率的な運営を図ることができた。
○民間企業の活用を進めるとともに、引き続き栄養バランスの取れた安全・安心な給食を提供する必要がある。
○安全・安心な給食の提供を維持するため、老朽化が進む設備・備品等について計画的な更新及び修繕を行っていく必要がある。
○保護者負担を1食200円に統一し、差額分を学校給食材料費支援補助金として交付することで、物価高騰による保護者負担を軽減できた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費	126,975千円	126,995千円	20千円	99.9 %	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費				(参考)当初予算額	課	教育総務課
	目	04 学校給食費				135,638千円		
	事業	05 学校給食ｾﾝﾀｰ施設整備事業						
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実						

主な財源		
国補	学校施設環境改善交付金（1/3）	39,390千円
市債	学校給食ｾﾝﾀｰ整備事業債（学校教育施設等整備事業債）	65,500千円

目的

令和6年度に整備した網野学校給食センターへの移行に伴い、旧網野学校給食センターの除却を行うもの。

主要な事務・事業の概要

○旧網野学校給食センター施設解体撤去工事	123,055千円
・工事監理委託料	2,088千円
・工事請負費	120,967千円
○各種手数料	228千円
・ごみ持込処理、施設設備撤去、ガス配管置換	
○各種委託料	3,692千円
・浄化槽清掃	

成果・課題

令和6年度に整備した網野学校給食センターへの移行に伴い、旧網野学校給食センターを除却することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費	9,520千円	9,520千円	0千円	100.0 %	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費				(参考)繰越予算額	課	教育総務課
	目	04 学校給食費				9,520千円		
	事業	05 学校給食ｾﾝﾀｰ施設整備事業（繰越）						
まちづくり27の施策		02 未来を拓く学校教育の充実						

主な財源		
市債	学校給食ｾﾝﾀｰ整備事業債（公共施設等適正管理推進事業債）	8,500千円

目的

令和6年度に整備した網野学校給食センターへの移行に伴い、旧網野学校給食センターの除却を行うもの。

主要な事務・事業の概要

○旧網野学校給食センター施設解体撤去工事	9,520千円
・工事監理委託料	420千円
・工事請負費	9,100千円

成果・課題

令和6年度に整備した網野学校給食センターへの移行に伴い、旧網野学校給食センターを除却することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費				100.0 %		
	目	02 社会教育推進費	1,112千円	1,112千円	0千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	02 青少年教育事業				1,219千円		

まちづくり27の施策	03 多様な学びを支援する生涯学習の充実

目的

本市の将来を担う青少年が心豊かに成長することができるよう、地域の青少年を守り育てる活動及び団体を支援する。

主な財源

繰入金	韓哲･まちづくり夢基金繰入金	1,112千円

主要な事務・事業の概要

○児童合唱団補助金　212千円

音楽を通して自分を表現する力や社会性を身に付けるなど、豊かな心をはぐくむ活動を支援

補助金　大宮：94千円、網野：35千円、久美浜：83千円

○京丹後市青少年健全育成会補助金　400千円

家庭、地域社会、学校等関係団体と行政が連携・協力し、青少年の健全育成に資する活動・地域づくりを支援

◇あいさつ運動
（開催場所：市内中学校、高等学校　10か所）（参加人数延べ434人）
◇夏祭りパトロール
（開催場所：丹後、網野、久美浜　3か所）（参加人数延べ71人）
◇青少年体験事業
カヌー体験教室（15人）、親子でおさかな料理教室（23人）、バルーンアート・ジャグリング体験（80人）、パラスポーツ体験会（65人）
◇講演会（教育フォーラム共催）（270人）
◇総会、研修会（30人）
◇たよりの発行（京丹後市内全戸配布）

○地域子ども教室活動補助金　500千円

地域の中で子どもたちが健やかに成長できる安全な場所を確保するとともに、地域全体で子どもを守り育てる活動を支援

補助金　100千円×5団体

対象地域　新山ひこばえの集い（峰山町荒山区）
ブーフ・まむ（大宮町善王寺区）
久美浜二区子ども広場（久美浜町二区）
土曜お楽しみ会（久美浜町川上・海部・佐濃地区）
チャレンジ教室（久美浜町神野地区）

成果・課題

○青少年の健やかな成長を促す体験活動や地域活動を支援することができた。
○教育フォーラムを学校教育課と共催し、教育委員会が目指している方向性などを理解していただける機会とした。
○今後も市青少年健全育成会等関係団体と連携しながら、より効果的で実効性のある青少年教育事業を推進する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費				99.0 %		
	目	02 社会教育推進費	31,876千円	32,173千円	297千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	05 文化芸術事業				32,460千円		

まちづくり27の施策	22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進

目的

令和4年度に策定した「文化芸術振興計画」に基づき、誰もが文化芸術に親しみ、人が輝き、豊かで活力ある生活が送れるよう、市、地域住民、関係団体等が相互に連携し、一体となって文化芸術によるまちづくりを推進するため、各種文化芸術活動の支援を行う。

主な財源

国補	新しい地方経済･生活環境創生交付金(第2世代交付金)	1,181千円
府補	きょうと地域連携交付金	640千円
繰入金	韓哲･まちづくり夢基金繰入金	1,242千円

主要な事務・事業の概要

○文化芸術振興審議会（2回）　166千円
・委員報酬（9人）、アドバイザー謝金（1人）　148千円
・委員費用弁償　18千円

○文化芸術のまちづくり推進会議（3回）　115千円
・委員謝金（15人）、アドバイザー謝金（2人）　108千円
・アドバイザー費用弁償（1人）　7千円

○おとまち響プロジェクト　128千円
・ピアノ調律手数料、楽器運搬手数料　128千円

○丹後文化芸術祭実行委員会補助金　1,040千円

北部2市2町と丹後文化事業団で設置する実行委員会が、展示会や発表会を開催する経費に対する補助金

○丹後文化事業団運営費補助金　24,724千円

文化事業団運営経費、人件費、施設管理費等に対する補助金

○京丹後市文化協会活動補助金　3,500千円

各種文化振興事業及び事務局員賃金に対する補助金

○丹後で福祉とアートをつなぐ実行委員会補助金　155千円

障害者等によるアート作品の発表の場を創出する事業に対する補助金

○京丹後アートフェスティバル開催経費　2,045千円

市民が多様な文化芸術に触れ、そこでの学びや体験を通して、創作や表現することの楽しみを体得できる機会を提供（令和7年9月～12月開催）

・講師謝金　235千円
・消耗品費、燃料費　278千円
・印刷製本費　178千円
・会場設営委託料　261千円
・パンフレット等政策委託料　1,049千円
・写真撮影業務委託料　44千円

○中丸三千繪＆秋川雅史　プレミアムデュオ・リサイタル　3千円
・交通整理業務委託料　3千円

成果・課題

○優れた文化芸術を鑑賞・体験できる機会の提供及び地域文化活動の普及・振興を推進し、文化芸術活動の充実を図ることができた。
○京丹後市文化芸術振興計画を適正かつ効果的に推進するために発足した京丹後市文化芸術のまちづくり推進会議で、文化芸術によるまちづくりを具体的に進めるための検討を行った。
○（公財）京都府丹後文化事業団及び京丹後市文化協会等に対して、持続可能な運営が可能となるよう支援していく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	款	10 教育費						
	項	04 社会教育費				93.2 %		
	目	02 社会教育推進費	96千円	103千円	7千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	06 人権教育事業				165千円		
まちづくり27の施策		17 一人ひとりの人権と多様性を尊重するまち						

目的

人権が尊重され、誰もが自分らしく生きることのできる社会の実現に向け、あらゆる人権問題について、正しい理解と認識を深めるための学習機会の提供などを通じ、人権教育を推進する。

主な財源

府補	人権問題啓発事業費補助金（1/2）	33千円

主要な事務・事業の概要

○人権教育研究京丹後市大会の開催経費 80千円
- ・講師謝金 75千円
- ・消耗品費（資料用紙等） 5千円

【人権教育研究京丹後市大会（R7.8.21） 参加者：254人】
講演 「誰もが『自分』を生きる力を～人権が尊重される多様性社会を目指して～」
講師 公益財団法人とよなか国際交流協会 事業主任 三木 幸美 氏
（会場：アグリセンター大宮）

○その他経費（消耗品費） 16千円

（参考）視覚・聴覚障害者交流研修会の開催
【視覚障害者交流研修会（R7.6.26） 参加者：18人】
「盲導犬との生活体験談」、「ウクレレ音楽療法」
【聴覚障害者交流研修会（R7.10.24） 参加者：11人】
「フレイル予防でいきいき長寿」、「苔玉作り体験」

成果・課題

○人権教育研究京丹後市大会を通じ、人権学習の機会を提供することができた。また、障害者交流研修会を通じて、障害者の交流及び社会参加の促進につなげることができた。
○誰もが平等で、人権を尊重する心を身につけ、日常生活の中で無意識に行動できるよう啓発活動だけでなく、学習の機会を充実させる必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	教育委員会事務局
	款	10 教育費						
	項	04 社会教育費				97.7 %		
	目	03 公民館費	28,237千円	28,896千円	659千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	02 地域公民館管理運営事業				30,161千円		
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実						

目的

社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりをめざして各町に地域公民館を設置し、地域の身近な課題や生活課題等に即した学習機会を提供し、学習環境の整備・充実を図る。また、社会教育活動、生涯学習及びコミュニティ活動を行う拠点として、峰山地域公民館、丹後地域公民館、弥栄地域公民館施設の管理運営を行う。

主な財源

使用料	峰山地域公民館、丹後地域公民館、弥栄地域公民館使用料	1,754千円
繰入金	韓哲･まちづくり夢基金繰入金	126千円
諸収入	地域公民館光熱水費負担金	168千円
諸収入	社会教育事業等参加料	1,938千円

主要な事務・事業の概要

○講座･教室等の実施、地域公民館事業の広報 2,209千円
- ・報償費（講師謝金） 1,998千円
- ・旅費（費用弁償、普通旅費） 11千円
- ・需用費（消耗品費、燃料費、食糧費） 90千円
- ・役務費（手数料） 21千円
- ・委託料（バス運転委託料） 10千円
- ・使用料及び賃借料（会場借上料、有料道路通行料） 79千円

○地域公民館施設等維持管理経費 25,922千円
- ・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料） 14,116千円
- ・役務費（通信運搬費、手数料） 313千円
- ・委託料（施設管理、施設清掃、宿日直ほか） 11,083千円
- ・使用料及び賃借料（テレビ受信料、土地借上料） 269千円
- ・備品購入費（蓄圧式粉末消火器 23本） 141千円

○峰山地域公民館自転車小屋撤去工事 106千円

＜主な公民館事業＞ ※ 参加者数は延べ人数

事業種別	事業・講座名	回数	参加者数	実施額
合同講座	初めての有機野菜つくり講座	1回	87人	26千円
	有機野菜つくりの基本を学びます	1回	69人	37千円
	AIの基本を学ぼう	1回	103人	63千円
青少年教育	夏休み子ども教室(峰山･大宮･弥栄･久美浜)	6回	128人	22千円
	網野町ウイークエンド事業(網野)	9回	232人	6千円
	たんごふるさと探検隊	3回	20人	12千円

＜貸館施設の利用状況＞

区 分	利用回数	延べ利用者数	施設等維持管理経費
峰山地域公民館	2,685回	36,580 人	9,852千円
丹後地域公民館	654回	12,962 人	8,021千円
弥栄地域公民館	1,006回	19,528 人	7,460千円

成果・課題

○幅広い世代の市民を対象に多様な分野の学習機会を提供することで、充実した社会教育活動を推進することができた。
○各公民館施設の老朽化により、修繕が必要な箇所が多いことから、計画的に修繕を実施する必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費				94.3 %		
	目	03 公民館費	5,988千円	6,347千円	359千円	(参考)繰越予算額	課	生涯学習課
	事業	02 地域公民館管理運営事業（繰越）				6,347千円		
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実						

目的

峰山地域公民館のトイレ洋式化改修工事を行い、施設利用者の利便性の向上を図る。

主な財源

市債	社会教育施設整備事業債（合併特例債）	5,600千円

主要な事務・事業の概要

○委託料	957千円
・工事設計監理業務	957千円
○工事請負費	5,031千円
・峰山地域公民館トイレ洋式化工事	5,031千円

成果・課題

トイレの洋式化工事を行うことで、施設利用者の利便性向上に寄与した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費				99.8 %		
	目	04 図書館費	99,449千円	99,556千円	107千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課
	事業	01 図書館管理運営事業				110,184千円		
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実						

目的

生涯学習の拠点施設として、市民の読書、調査研究等の要求に応えるよう、様々な資料・情報を収集、整理・保存し、提供するための図書館・図書室の運営及び環境を整える。

また、子どもの読書活動推進のため、保育所・こども園、学校、地域、ボランティアなどと連携し、子どもから大人まで幅広く利用者の拡大を図るための各種行事等を企画・運営する。

主な財源

国補	新しい地方経済･生活環境創生交付金(第2世代交付金)	7,909千円
寄附金	ふるさと応援寄附金	40千円
繰入金	ふるさと応援基金繰入金	5,000千円
繰入金	韓哲･まちづくり夢基金繰入金	7,908千円
諸収入	平井嘉一郎文庫事業協賛金	300千円

主要な事務・事業の概要

○図書館協議会委員報酬等（委員10人、協議会6回）	164千円
○市立図書館（2館4室）の管理運営費	83,468千円
・会計年度任用職員任用経費（常勤17人、代行12人）	68,858千円
・図書購入費（AV資料含む）	6,061千円
・雑誌及び新聞購入費	1,348千円
・ブックスタート事業経費（244人に実施、絵本配付）	157千円
・光熱水費（あみの図書館）	2,181千円
・Wi-Fiルーター通信料	209千円
・図書システム利用料、保守委託料	3,252千円
・その他（図書装備用品、修繕料等）	1,402千円
○図書館システムマイナンバー連携経費	15,817千円

＜主なサービス内容＞

- 資料（図書･AV資料･雑誌新聞）の収集、整理、保存、貸出など
- 閲覧、学習スペースの提供（Wi-Fi接続サービス）
- 図書館相互協力･おはなし会等の行事開催･広報活動
- 学校等との連携による読書推進事業･読み聞かせボランティアの活用など

＜利用状況等＞

区　分	蔵書数	年間貸出点数	（個人貸出点数）	年間貸出者数
峰山図書館	83,431点	61,312点	43,220点	10,472人
あみの図書館	108,304点	82,005点	63,516点	14,816人
大宮図書室	37,325点	54,316点	40,528点	8,495人
弥栄図書室	29,114点	29,201点	24,925点	5,843人
丹後図書室	30,442点	28,178点	21,448点	5,328人
久美浜図書室	26,604点	45,908点	36,040点	8,560人
（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ）	－	10,953点	10,953点	－
合　計	315,220点	311,873点	240,630点	53,514人
令和6年度	313,464点	326,783点	258,072点	57,104人

※市民1人当たりの年間貸出冊数:4.94冊　　（個人貸出点数/R7年度末人口）

※（インターネット）：インターネットでの貸出延長処理

成果・課題

○計画通り行事を実施し市民に対する読書推進を図ることができた。
○図書館端末及びシステムの更新を行い、新しくマイナンバーカード連携サービスを始め、サービスの向上を図った。
○貸出冊数、図書館行事への参加者数が減少傾向にあるため、引き続きサービス等について周知、工夫に努める必要がある。
○市立図書館（2館）、図書室（4室）の運営について、ニーズ把握に努め、今後の対応を検討していく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費				80.0 %		
	目	04 図書館費	67,745千円	84,656千円	16,911千円	(参考)繰越予算額	課	生涯学習課
	事業	01 図書館管理運営事業（繰越）				84,656千円		
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実						

目的

故障したあみの図書館の空調設備の改修工事を行い、図書館を快適に利用できる環境整備を図る。

主な財源

市債　社会教育施設整備事業債（合併特例債）　64,300千円

主要な事務・事業の概要

○委託料　1,377千円
- 工事設計監理業務　1,377千円

○工事請負費　66,368千円
- あみの図書館空調改修工事　66,368千円

成果・課題

あみの図書館の空調設備の改修により、快適な図書館環境を確保することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費				95.1 %		
	目	01 保健体育総務費	17,648千円	18,548千円	900千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）
	事業	01 社会体育団体育成事業				18,548千円		
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実						

目的

市民へのスポーツの普及と振興を図るため、中核的な役割を担う（一社）京丹後市スポーツ協会の活動を支援する。
また、京丹後市青少年スポーツ協会の活動及び子どもスポーツ推進事業を支援することで、青少年の健全育成と体力の向上を図る。

主な財源

繰入金　韓哲･まちづくり夢基金繰入金　3,402千円

主要な事務・事業の概要

○（一社）京丹後市スポーツ協会活動補助金　14,246千円
- 加盟団体数：18団体（2,245人）　※令和8年3月末現在
- 各種事業の実施
  - スキルアップ研修会の開催（令和7年8月1日、令和8年2月27日）
  - 各競技団体の活動支援（年間）
  - スポーツ講演会の実施（令和7年8月18日）
- 市主催事業への協力（ウルトラマラソン、丹後大学駅伝）
- 広報紙の発行（年3回）

○京丹後市青少年スポーツ協会活動補助金　3,402千円
- 加盟団体数：57団体（児童生徒数：1,299人、指導者数：312人）
- 事業内容：指導者研修会の開催、各加盟団体支援、募集チラシの発行

＜京丹後市青少年スポーツ協会　種目別加盟団体数＞

種　目	団体数	種　目	団体数	種　目	団体数
野　球	9	剣　道	4	新体操	1
バレーボール	9	柔　道	1	体　操	1
バスケットボール	6	硬式テニス	2	卓　球	1
サッカー	5	ソフトテニス	2	複合(複数種目)	1
空手道	6	バドミントン	1	カヌー	1
陸　上	5	少林寺拳法	1	レスリング	1

合計：57団体

※複合(複数種目)：年間を通じて、さまざまな種目のスポーツを実施する団体

成果・課題

○スポーツ団体の組織強化を支援することにより、スポーツ団体が実施する各種教室及び大会などを通して、幅広い年代層へスポーツに親しむ機会を提供することができた。
○京丹後市青少年スポーツ協会の加盟団体への活動助成金の交付や指導者研修会を開催し青少年のスポーツを通じた健全育成を支援した。
○スポーツ協会では、令和5年4月の法人化以降、持続可能な組織運営体制の確立が課題となっているため、安定した事務局体制の構築と、事務局長候補の確保・育成を進めていく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費				99.6 %		
	目	02 ｽﾎﾟｰﾂ推進費	5,596千円	5,616千円	20千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）
	事業	02 地域ｽﾎﾟｰﾂ推進事業				5,616千円		
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実						

目的

市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、体力の向上や健康づくり等、年代や目的に応じて気軽に親しめるスポーツ機会を提供する。
また、市総合スポーツ大会の開催、京都府民総合体育大会への出場を支援する等、スポーツ人口の拡大を図るとともに、スポーツを通した交流機会を提供する。

主な財源

府補	きょうと地域連携交付金	2,520千円
繰入金	韓哲･まちづくり夢基金繰入金	282千円
諸収入	ｽﾎﾟｰﾂ大会参加料	16千円

主要な事務・事業の概要

○報償費	41千円
（北近畿中学生ソフトテニス大会、はしうど杯卓球選手権大会審判員謝金等）	
○需用費（消耗品費、食糧費）	201千円
○委託料	1,324千円
・市長杯争奪中学校野球大会開催委託料	100千円
・ジュニアカヌースプリント大会運営委託料	924千円
・京丹後市民陸上記録会運営委託料	300千円
○使用料及び賃借料（有料道路通行料）	10千円
○補助金	4,020千円
・京都府民総合体育大会派遣費補助金	1,500千円
・京丹後市総合スポーツ大会開催補助金	2,190千円
・野村克也杯学童野球大会開催補助金	330千円

＜大会等実施状況＞

大　会　名	開催日	参加者等
京丹後市総合スポーツ大会	5/11～2/22	14競技、1,123人
ジュニアカヌースプリント春季大会	5/24(土)	43人
市長杯争奪中学校野球大会	5/31(土)､6/1(日)	市内5校
北近畿中学生ソフトテニス大会	6/1(日)	7市2町16校　67ペア
京丹後市民陸上記録会	7/6(日)	134人
野村克也杯学童野球大会	8/1～8/16	18チーム、350人
京都府民総合体育大会	8月～2月	14競技参加、入賞6競技
ジュニアカヌースプリント秋季大会	10/18(土)	38人
はしうど杯卓球選手権大会	12/6(土)	2市1町、8校、82人

成果・課題

市民が気軽に参加できるスポーツ事業の実施及びスポーツ大会への支援をすることにより、市民の健康・体力づくりやスポーツを通した住民間・地域間の交流機会の提供、地域の活性化に寄与した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費				99.3 %		
	目	02 ｽﾎﾟｰﾂ推進費	4,839千円	4,872千円	33千円	(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）
	事業	03 ｽﾎﾟｰﾂｲﾍﾞﾝﾄ推進事業				3,466千円		
まちづくり27の施策		21 滞在型観光・スポーツ観光の促進						

目的

観光分野と連携し、各種スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた本市の魅力を発信し、交流人口の増加を図る。

主な財源

府補	きょうと地域連携交付金	860千円
寄附金	ふるさと応援寄附金	1,706千円
諸収入	地方公共団体ｽﾎﾟｰﾂ活動助成金（ｽﾎﾟｰﾂ振興くじ助成金）	1,120千円

主要な事務・事業の概要

＜スポーツイベントの実施状況等＞

イベント名	開催日程	会　場	参加者等	関係予算（負担金・補助金）執行内容	
京丹後市ドラゴンカヌー選手権大会	8/3(日)	久美浜湾	76チーム、870人	実行委員会への補助金	1,400千円
第23回丹後100ｋｍウルトラマラソン	9/14(日)	京丹後市内	2,924人	実行委員会への補助金	128千円
				バス運転委託料	822千円
丹後大学駅伝（第87回関西学生対校駅伝競走大会）	11/15(土)	丹後地域	23チーム、393人	後援会への負担金	600千円
				大会特別企画事業補助金	1,706千円
パラスポーツ体験会	12/21(日)	大宮	50人	講師謝金（4人分）	127千円
合　　計			4,237人		4,783千円

○その他経費	56 千円
・消耗品費	29 千円
・燃料費（丹後大学駅伝）	27 千円

成果・課題

○年間を通じて、各種大会を実施し、参加者のほか、応援者、関係者等含め多くの参加者を得て、地域における経済効果及び市の魅力発信を図ることができた。
○第87回目を迎えた丹後大学駅伝では、前年度に続きガバメントクラウドファンディングにより、青山学院大学がオープン参加した。また、地上波でのテレビ放送も行われ、中継所やフィニッシュ地点では、小中学生による応援や吹奏楽で盛り上げ、丹後地域を広くPRすることができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費	48,118千円	48,339千円	221千円	99.5 %	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費				(参考)当初予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）
	目	03 体育施設費				44,690千円		
	事業	01 体育施設管理運営事業						
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実						

目的

市民が生涯にわたって、心身ともに健康で文化的な生活を送ることができるよう、スポーツ活動やレクリエーション活動の拠点となる社会体育施設の維持管理等を行う。

主な財源

使用料	社会体育施設使用料	1,552千円
使用料	公有財産使用料	76千円
諸収入	学校跡施設光熱水費利用負担金	1,190千円
諸収入	学校跡施設点検費用等負担金	98千円
諸収入	大宮社会体育館光熱水費利用負担金	70千円

主要な事務・事業の概要

＜社会体育施設の維持管理経費＞

○需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料）	27,945千円
○役務費（通信運搬費、し尿汲取、浄化槽法定検査手数料等）	672千円
○委託料（運動公園管理、社会体育館管理、浄化槽維持管理等）	15,898千円
○使用料及び賃借料（土地借上、仮設トイレ借上、AED賃借料）	1,183千円
○工事請負費	2,371千円
・大宮社会体育館休憩室エアコン設置工事	99千円
・弥栄社会体育館休憩室エアコン設置工事	132千円
・久美浜中央運動公園駐車場進入路拡幅工事	272千円
・網野体育センターアリーナリモコンリレー改修工事	1,868千円
○備品購入費（体育館用掃除機）	38千円
○施設使用料返還金	11千円

＜利用状況＞

紅葉ヶ丘運動場（テニスコート）	182件
大宮自然運動公園（グラウンド、テニスコート）	502件
大宮社会体育館	1,318件
網野グラウンド（グラウンド、ゲートボール場）	552件
網野体育センター（体育室、柔・剣道室、テニスコート）	1,849件
丹後社会体育館	339件
弥栄総合運動公園（体育館、グラウンド、ゲートボール場）	1,504件
久美浜中央運動公園（グラウンド、テニスコート、ゲートボール場）	1,175件
その他体育施設（26施設）	5,575件
合　計（43施設）	12,996件

成果・課題

○施設の適切な管理運営を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。
○施設の効率的・効果的な管理運営を図るため、施設の見直し等について検討していく必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費	40,679千円	57,272千円	16,593千円	71.0 %	部	教育委員会事務局
	項	05 保健体育費				(参考)繰越予算額	課	生涯学習課（スポーツ推進室）
	目	03 体育施設費				57,272千円		
	事業	01 体育施設管理運営事業（繰越）						
まちづくり27の施策		03 多様な学びを支援する生涯学習の充実						

目的

社会体育館及び久美浜中央運動公園のトイレ改修工事を行い、社会体育施設の利用環境改善を図る。

主な財源

市債	社会体育施設整備事業債（合併特例債）	38,400千円

主要な事務・事業の概要

○工事監理委託料	3,958千円
・大宮、網野、丹後、弥栄社会体育館トイレ改修工事	3,300千円
・久美浜中央運動公園トイレ簡易水洗化工事	658千円
○使用料及び賃借料（仮設トイレ借上）	162千円
○工事請負費	36,559千円
・大宮社会体育館トイレ改修工事	7,365千円
・網野体育センタートイレ改修工事	10,695千円
・丹後社会体育館トイレ改修工事	5,327千円
・弥栄社会体育館トイレ改修工事	4,038千円
・久美浜中央運動公園トイレ簡易水洗化工事	7,139千円
・久美浜中央運動公園トイレ屋根塗装工事	1,995千円

成果・課題

社会体育館のトイレ洋式化及び久美浜中央運動公園のトイレ簡易水洗化等の施設利用環境の改善を行うことで、市民のスポーツ活動の普及・発展に寄与した。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費				99.7 %		
	目	07 文化財保存活用費	1,914千円	1,918千円	4千円	(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	03 遺跡整備事業				1,084千円		
まちづくり27の施策		22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進						

目的

市内に残る地域の特色と歴史を物語る重要な史跡等を、教育、観光、地域づくりの資源として有効に活用するために史跡整備を推進する。
国史跡網野銚子山古墳について、古墳の周知と集客へつなげるため、令和7年4月に史跡整備完了記念イベント等を行う。

主な財源

国補	新しい地方経済･生活環境創生交付金(第2世代交付金)	466千円
繰入金	文化財保存活用基金繰入金	1,410千円

主要な事務・事業の概要

○網野銚子山古墳整備完了記念イベント関係経費 1,127千円
- ・講師謝金（ワークショップ、パフォーマンス、トークイベント、デモガイド、司会アナウンス、太鼓パフォーマンス） 230千円
- ・燃料費（シャトルバス） 8千円
- ・会場設営委託料 627千円
- ・仮設トイレ借上料 79千円
- ・施設使用料（記念品製作の施設使用） 66千円
- ・備品購入費（テント購入） 117千円

整備完了記念イベントを令和7年4月26日に行った。内容は、整備記念式典のほか、活用デモイベントとしてワークショップ・物販・キッチンカー、太鼓・舞のパフォーマンス、トークイベントなど行った。
来場者：約1,000人

○史跡普及啓発経費 59千円
- ・神明山古墳「御墳印」作成印刷代 59千円

○環境整備関係経費 728千円
- ・網野銚子山古墳葺石移設工事 728千円

成果・課題

○網野銚子山古墳について、整備が完了したことを受け、古墳の活用を図るための式典、デモイベントを実施し、市内外から約1,000人の来場をいただき、古墳の活用の一例を示すことができた。
○デモイベントを盛況に終えることができたが、今後は地元の積極的な活用を促すための取り組みを継続的に進める必要がある。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費				99.9 %		
	目	07 文化財保存活用費	78,404千円	78,415千円	11千円	(参考)繰越予算額	課	文化財保存活用課
	事業	03 遺跡整備事業（繰越）				78,415千円		
まちづくり27の施策		22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進						

目的

地域の特色と歴史を物語る重要な史跡等を有効に活用するため、史跡整備を推進する。
国史跡網野銚子山古墳の保存・活用に向け、令和7年度は、6年度に引き続き、休憩施設建築、駐車場などの環境整備を実施する。

主な財源

国補	国宝重要文化財等保存･活用事業費補助金（1/2）	29,004千円
市債	遺跡整備事業債（合併特例債）	46,300千円

主要な事務・事業の概要

○網野銚子山古墳整備関係経費 78,404千円
- ・文化庁調査官指導旅費 12千円
- ・整備事業報告書印刷製本費 710千円
- ・工事監理委託料 1,430千円
- ・ガイダンス施設建築工事（建築主体） 41,172千円
- ・ガイダンス施設建築工事（機械設備） 13,798千円
- ・ガイダンス施設パネル等設置工事 890千円
- ・駐車場整備工事 20,195千円
- ・銚子山古墳水路溝蓋設置工事 197千円

成果・課題

網野銚子山古墳について、史跡整備検討委員会の指導を受け、古墳の保存・活用を図るための環境整備工事を実施することができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	10 教育費					部	教育委員会事務局
	項	04 社会教育費				98.5 %		
	目	07 文化財保存活用費	462千円	469千円	7千円	(参考)当初予算額	課	文化財保存活用課
	事業	06 地域文化財総合活用推進事業				1,181千円		
まちづくり27の施策		22 歴史文化・文化芸術を活かしたまちづくりの推進						

目的

文化庁の認定を受けた「京丹後市文化財保存活用地域計画」により、京丹後市の歴史文化や文化財を後世に伝えるため、市民遺産会議を運用するほか、京丹後市文化財保存活用地域計画推進協議会による進捗管理などを行う。

主な財源

繰入金	文化財保存活用基金繰入金	460千円

主要な事務・事業の概要

○文化財保存活用地域計画推進協議会開催経費（委員15人） 90千円
- 協議会委員謝金　2回開催、4千円×延べ20人 80千円
- 委員費用弁償 10千円

○京丹後市市民遺産会議（委員5人） 88千円
- 市民遺産会議委員謝金 33千円
  2回開催、4千円×延べ3人、7千円×延べ3人
- 委員費用弁償 7千円
- 消耗品費（認定証用紙） 1千円
- 市民遺産補助金　1件 47千円
  認定市民遺産に関してその保存活用に係る費用を補助するもの
  補助対象者：市民遺産の所有者等
  補助率：補助対象経費の2分の1以内（上限5万円）

○「京丹後歴史文化めぐりマップ」運用経費 284千円
京丹後市文化財保存活用地域計画に示した4つの歴史文化の特徴と11のストーリーを紹介するデジタルマップ（令和5年度製作）のサーバー使用料

成果・課題

○推進協議会や市民遺産会議の開催、市民遺産1件の認定、市民遺産補助金の創設、京丹後歴史文化めぐりマップの運用により、京丹後市文化財保存活用地域計画で示した本市の歴史文化を掘り起こし広く周知するとともに保存活用をより一層推し進めることができた。
○現在の文化財保存活用地域計画が令和9年度をもって期間を終えるため、令和8・9年度において次期計画を策定していくことが必要である。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	03 民生費					部	こども部
	項	02 児童福祉費				99.9 %		
	目	02 子育て支援費	328,812千円	328,983千円	171千円	(参考)当初予算額	課	こども未来課
	事業	02 放課後児童健全育成事業				324,876千円		
まちづくり27の施策		01 子育て支援の総合的な推進						

目的

保護者の就労や疾病その他の理由により、学校の放課後、長期休業期及び土・日曜日等に適切な保育が受けられないと認められる家庭の小学校の児童に対し、適切な遊びや生活の場を与えることにより、児童の健全な育成と子育て支援の推進を図る。

主な財源

使用料	公有財産使用料、小学校施設使用料、丹後地域公民館使用料	10,671千円
使用料	放課後児童健全育成事業利用料	24,319千円
国補	子ども･子育て支援交付金（1/3）	29,210千円
府補	子ども･子育て支援交付金（1/3）	29,210千円
府補	きょうと地域連携交付金	1,190千円
繰入金	ふるさと応援基金繰入金	200,000千円

主要な事務・事業の概要

○クラブ運営経費 304,675千円
- クラブ運営業務委託料（11クラブ） 301,655千円
- 光熱水費（大宮、口大野、弥栄） 2,378千円
- タブレット持ち帰り学習用光回線通信費（6クラブ） 642千円

○施設維持管理経費 9,022千円
- 網戸設置（口大野） 69千円
- グレーチング設置、トイレ手摺取付、ドア等改修（峰山） 398千円
- 消防設備等保守点検委託（口大野･弥栄） 41千円
- 浄化槽維持管理委託等（口大野） 176千円
- エアコン更新（口大野･海部）、エアコン新設（峰山） 3,976千円
- 長岡小学校グラウンド埋込タイヤ撤去等工事 591千円
- その他維持管理経費（消耗品、修繕等） 1,818千円
- 備品購入費（AED（17台）等） 1,953千円

○児童送迎業務経費（6クラブ・11台） 15,115千円
- 運転業務委託料 11,607千円
- 燃料費、車両修繕、保険料、運転手適性診断受診手数料等 3,508千円

【クラブ開設状況】
- 年間開設日数： 339日（うち峰山のみ日曜・祝日開設　52日）
- 年間平均利用登録児童数：560人（11か所、13支援単位）
- 日曜日、祝日利用登録児童数：28人　日曜日、祝日利用延べ人数：170人

地域	名称	開催場所	人(平均)	地域	名称	開催場所	人(平均)
峰山	峰山①	旧丹波小学校	66	網野	網野南	網野南小学校	42
	峰山②		28		網野北	網野北小学校	45
	長岡①	長岡小学校	22	丹後	丹後	丹後地域公民館	15
	いさなご	いさなご小学校	46	弥栄	弥栄	旧溝谷保育所	29
大宮	大宮	大宮北保育所	53	久美浜	久美浜	久美浜小学校	51
	口大野①	旧口大野保育所	53		海部	旧海部小学校	47
	口大野②		63				

成果・課題

○利用者数が増加傾向にある中、待機児童ゼロを継続し児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てと就労の両立を支援することができた。
○利用者の増加に対応できるよう、学校の空き教室の活用など施設の確保を考えていく必要がある。
○長岡小学校の適正配置に伴い、「いさなご放課後児童クラブ」を「長岡放課後児童クラブ」に統合し、4月から長岡小学校にて「長岡放課後児童クラブ」として運営するための整備及び準備を行うことができた。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	03 民生費	32,357千円	32,414千円	57千円	99.8 %	部	こども部
	項	02 児童福祉費				(参考)当初予算額	課	子育て支援課
	目	02 子育て支援費				34,947千円		
	事業	03 子育て支援ｾﾝﾀｰ事業						
まちづくり27の施策		01 子育て支援の総合的な推進						

目的　地域の子育て支援の拠点として、市内8か所に子育て支援センターを設置し、育児相談や子育て情報の提供などを行い、在宅で子育てをしている保護者とその子どもたちを支援する。

主な財源

国補	重層的支援体制整備事業交付金（1/3）	10,384千円
府補	重層的支援体制整備事業交付金（1/3）	10,384千円

主要な事務・事業の概要

○会計年度任用職員任用経費（指導員：20人）	26,983千円
○こうりゅう地域子育て支援センター運営委託料（こうりゅう虹こども園）	3,029千円
○その他の運営経費	2,345千円
・消耗品費（事務用品、保育材料、消毒用品、コピー料等）	434千円
・燃料費（灯油代、ガス代）	155千円
・光熱水費（電気料、上下水道料）	996千円
・通信運搬費（電話料）	254千円
・委託料（施設警備、消防設備等保守点検）	57千円
・使用料及び賃借料（コピー機借上料）	99千円
・備品購入費（AED、扇風機、掃除機）	350千円

【子育て支援センター】延べ利用人数

支援センター	児童	保護者
峰山	1,058人	940人
大宮北	1,442人	1,269人
大宮南	1,082人	1,047人
網野	2,012人	1,901人
丹後	190人	163人
弥栄	499人	480人
かぶと山	268人	257人
こうりゅう	444人	405人
合　計	6,995人	6,462人

【なかよし広場（全12回）】
実施月：R7.4月～R8.3月（月1回）
場所：峰山総合福祉センター
児童：205人　　保護者：191人

【子育て交流会】
場所：網野地域子育て支援センター

開催日	児童	保護者
10月24日	47人	39人
11月18日	41人	36人
合　計	88人	75人

成果・課題
○子育て相談や遊びの場を提供することにより、子育てに対する不安の解消や保護者同士のコミュニケーションの促進を図ることができた。
○利用状況に応じた開所日の見直しを行うとともに、一部の施設では複数施設の登録を可能にするなど、利用者の利便性を維持しながら効率的な運営を行うことができた。
○今後もニーズに合わせた事業実施の検討が必要。

予算科目			本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率		
	款	03 民生費	2,217千円	2,396千円	179千円	92.5 %	部	こども部
	項	02 児童福祉費				(参考)当初予算額	課	こども未来課
	目	02 子育て支援費				3,000千円		
	事業	05 子育て環境整備事業						
まちづくり27の施策		01 子育て支援の総合的な推進						

目的　子育て環境の充実を図り、子どもを地域社会全体で育て、支える仕組みづくりを推進することを目的に、市内で行われる子育て支援に関する活動を支援する。

主な財源

府補	きょうと地域連携交付金	1,100千円
寄附金	ふるさと応援寄附金	1,100千円

主要な事務・事業の概要

○子育て環境整備応援プロジェクト補助金　2,217千円

【補助対象者】　市内で子育て支援活動に取り組む者等

【補助対象経費等】

対象事業	補助対象経費等	補助金額
子育て団体支援事業	子育て支援に関する継続的な活動に係る経費 ・補助率2／3 ・補助上限額：1,000千円／団体	881千円 （1団体）
子育て活動支援事業	子育て支援に関するイベント開催（単発的なもの）に係る経費 ・補助率10／10 ・補助上限額：100千円／団体	1,048千円 （13団体）
子育て環境支援設備整備事業	店舗等における授乳用設備、おむつ交換台、キッズスペース等設置に係る経費 ・補助率10／10 ・補助上限額：200千円／事業所等	288千円 （2事業所等）

成果・課題
○子育て支援に取り組む団体等を支援することにより、地域の子育て支援者や子育て世帯が集い情報交換や交流の場を提供することができた。
○市内事業所のおむつ替え設備等の整備を支援することにより、市内の子育て環境の充実を図ることができた。
○子育て環境の充実に向け、活動団体等への支援が引き続き必要である。